

INNOSITE®

サイトストラクチャー SITE-STRUCTURE

体験マニュアル - 谷止め工の作成 -



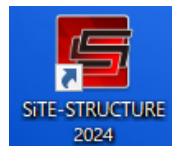
株式会社建設システム

SiTE-STRUCTURE テキスト 目 次

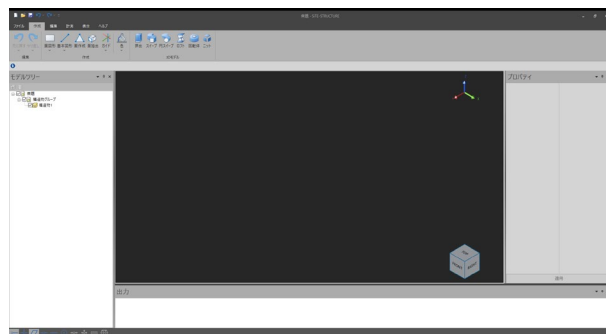
1.ソフトを起動する	1
2.図面を取り込む	3
2-1 〔2D 図面取込み〕から取り込む	3
3.本堤を作成する	9
3-1 面を作成する	9
3-2 面を押し出す	12
3-3 モデルを抽出する	14
3-4 水抜き管を作成する	16
3-5 リフト割を行う	20
4.副堤を作成する	22
4-1 面を作成する	22
4-2 面を押し出す	24
4-3 モデルを抽出する	25
5.水叩きを作成する	27
5-1 面を作成する	27
5-2 面を移動させる	29
5-3 ロフトを使う	32
5-4 モデルを分割する	34
6.側壁を作成する	38
6-1 面を作成する	38
6-2 面を移動させる	40
6-3 ロフトを使う	43
6-4 モデルを分割する	45
6-4 モデルを複写する	48
7.座標を割り付ける	50
7-1 座標を変換する	50

1 ソフトを起動する

アイコンをダブルクリックします。



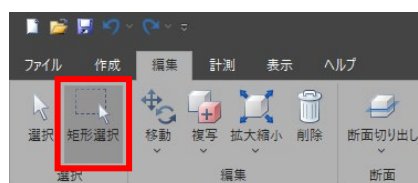
SITE-STRUCTURE が起動します。



以降の作業に向けて、選択モード・スナップモードを設定します。

選択モードを設定します。

【編集】タブをクリックし、【矩形選択】をクリックします。



画面左下のスナップモードを設定します。

【端点】、【交点】を有効、【面上】を無効にします。





マウスの編集について

右ボタン+ドラッグ

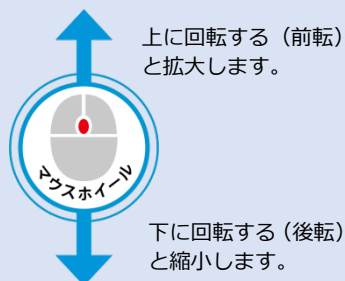
マウスの右ボタンを押しながらマウスをドラッグすると、ドラッグする方向に回転します。

マウスホイール+ドラッグ

マウスホイールを押しながらドラッグすると、ドラッグする方向に表示位置が移動します。

マウスホイール

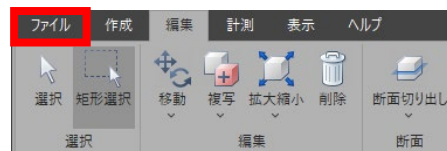
マウスホイールを上下に回転すると、画面を拡大・縮小することができます。



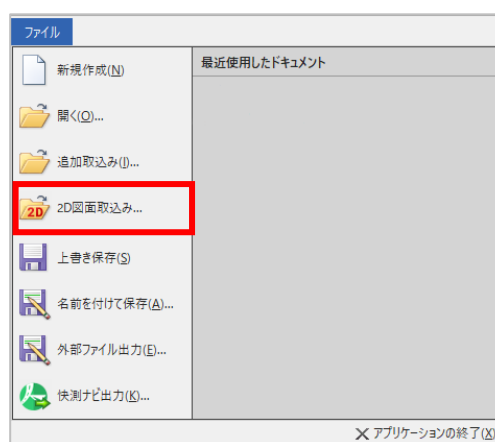
2 図面を取り込む

2-1 [2D 図面取込み] から取り込む

[ファイル] をクリックします。



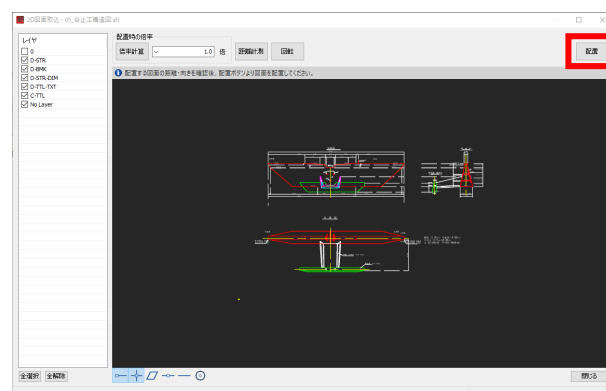
[2D 図面取込み] をクリックします。



開く画面が表示されます。
設計図面が保存されているフォルダーを指定し、
取り込む図面ファイルを選択します。
[開く] ボタンをクリックします。

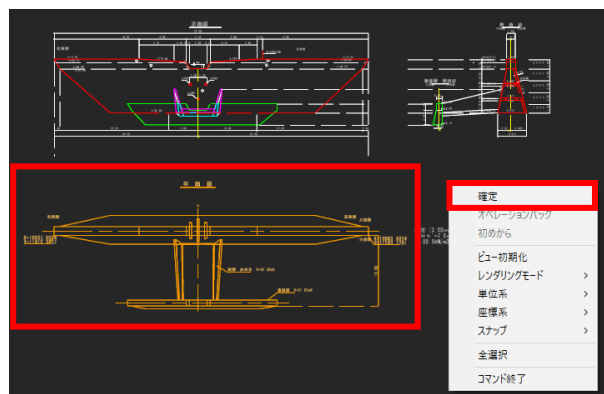


2D 図面取込画面が表示されます。
設計図面より、平面図、正面図、側面図を順に取り込み
ます。
[配置] ボタンをクリックします。



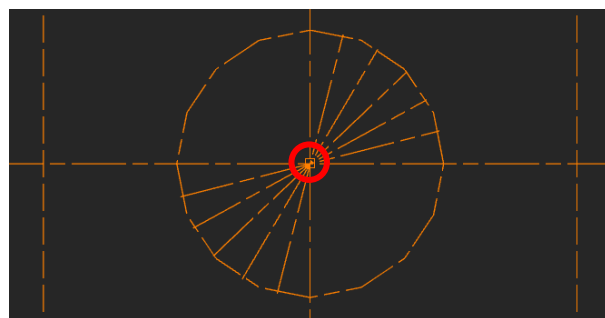
平面図をドラッグで選択します。

選択後、[右クリック] - [確定] をクリックします。



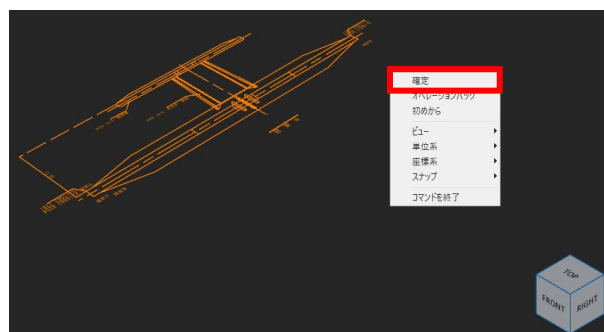
配置時の基準点を指定します。

平面図を拡大し、本堤の中央にある円の中心をクリックします。



平面図を任意の位置に配置します。

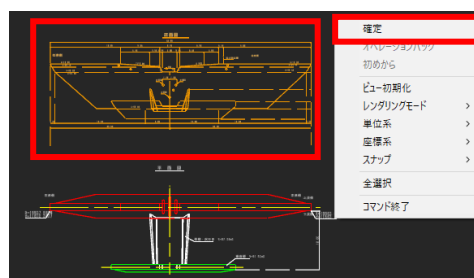
任意の位置でクリックし、[右クリック] - [確定] をクリックします。



2D 図面取込画面に戻ります。

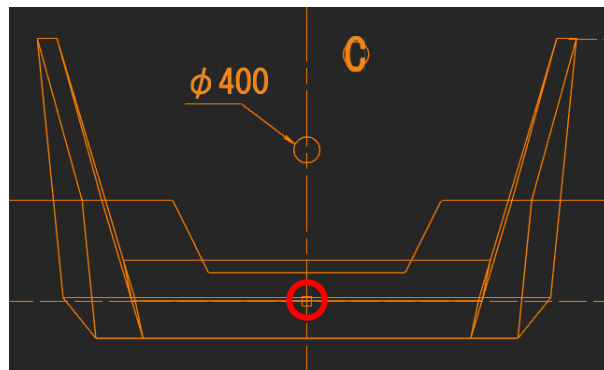
続けて、正面図をドラッグで選択します。

選択後、[右クリック] - [確定] をクリックします。



配置時の基準点を指定します。

正面図を拡大し、CL 線と本堤底面の線（破線）の交点をクリックします。



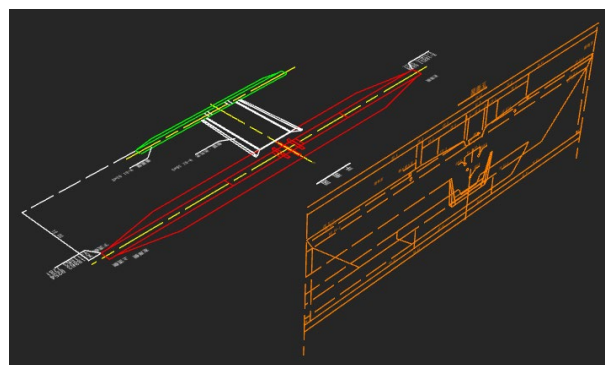
正面図を配置します。

Ctrl キーを 1 回押し、図面の向きを「正面」に変更します。

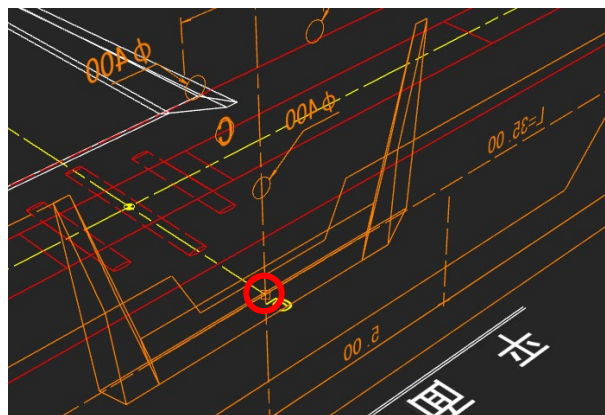


ポイント

Ctrl キーを押すたびに、平面→正面→右側面→背面→左側面→任意→平面・・・と図面の向きが変わります。



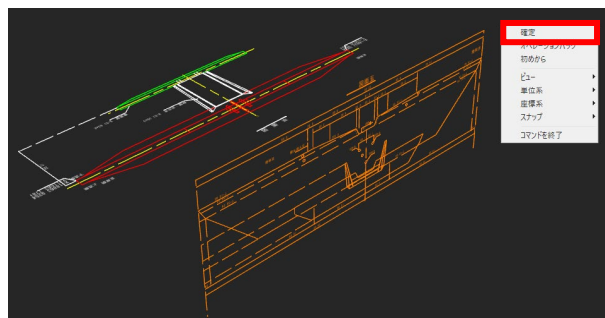
平面図の基準線に合わせて配置します。
平面図の CL 線の端部をクリックします。



図面のオフセット位置を指定します。

作業しやすい位置に正面図をずらしてクリックします。

配置後、[右クリック] – [確定] をクリックします。



2D 図面取込画面に戻ります。

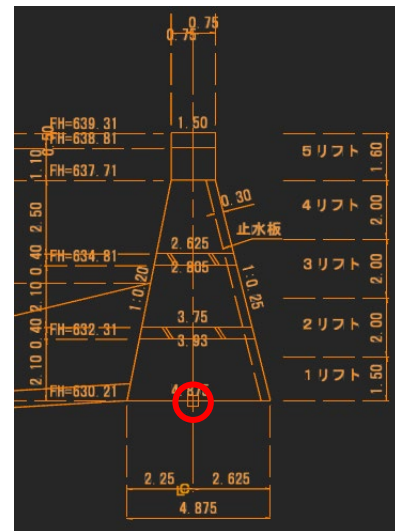
続けて、側面図をドラッグで選択します。

選択後、[右クリック] - [確定] をクリックします。



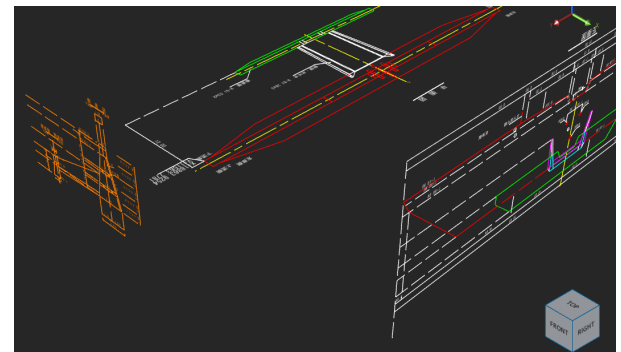
配置時の基準点を指定します。

側面図を拡大し、CL 線と本堤底面の線の交点をクリックします。



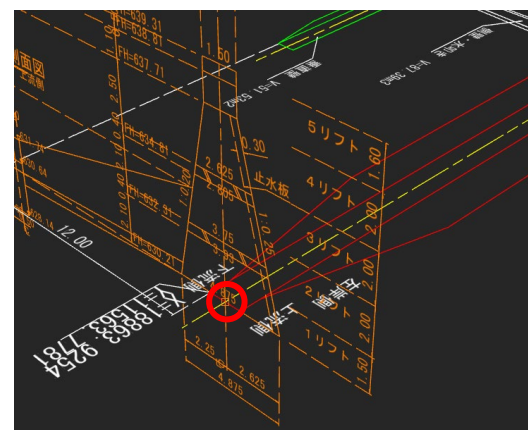
側面図を配置します。

Ctrl キーを 2 回押し、図面の向きを「右側面」に変更します。

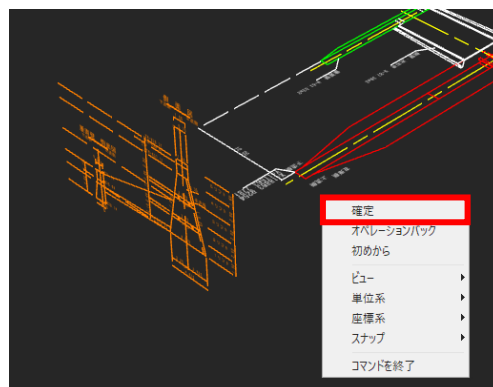


平面図の基準線に合わせて配置します。

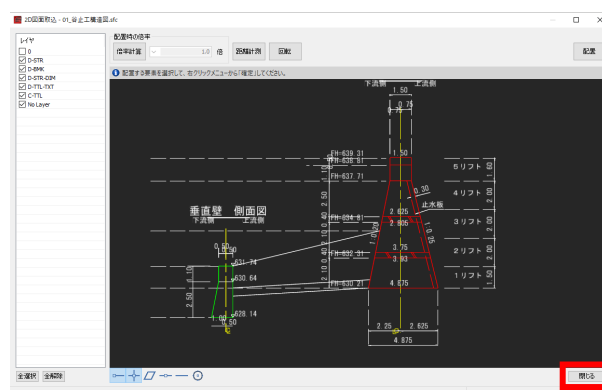
平面図の基準線の端部をクリックします。



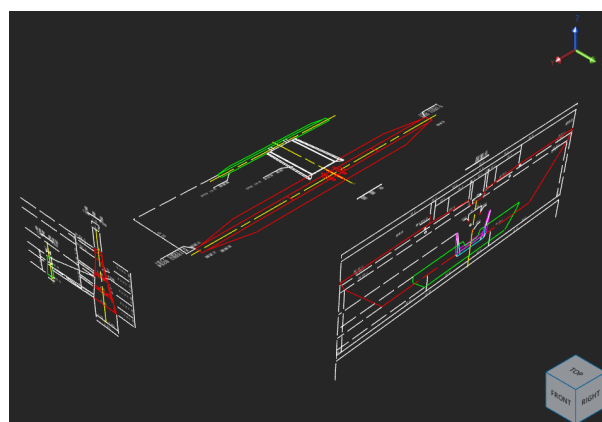
図面のオフセット位置を指定します。
作業をしやすい位置に側面図をずらしてクリックします。
配置後、[右クリック] – [確定] をクリックします。



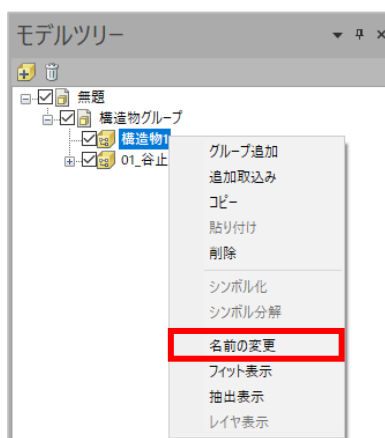
2D 図面取込画面に戻ります。
[閉じる] をクリックします。



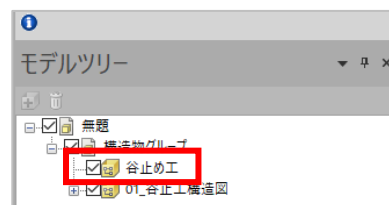
設計図面の配置が完了しました。



次の作業に向けてグループの名前を変更します。
モデルツリーの「構造物 1」グループをクリックします。
選択後、[右クリック] – [名前の変更] をクリックします。



名前を「谷止め工」に変更します。



3 本堤を作成する

3-1 面を作成する

作成するモデルの色を設定します。

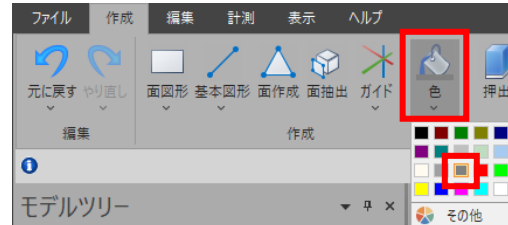
「作成」タブをクリックします。

「色」をクリックし、「Gray」を選択します。



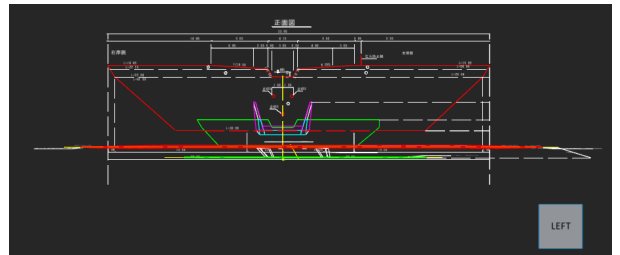
ポイント

モデルの色は後から変更することも可能です。
お好みで見やすい色を選択してください。



正面図を利用して面を作成します。

右ドラッグで正面図が見える向きに視点を変更します。



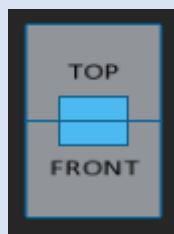
ナビゲーションキューブ

ナビゲーションキューブを利用して視点を変更することができます。

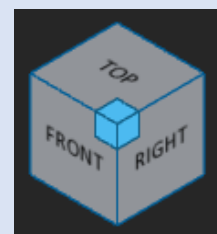
- ・キューブの面/辺/頂点をクリックすると、その方向から見た向きに視点が移動します。
- ・同じ面/辺/頂点を連続してクリックすると、視点が 90 度ずつ回転します。
- ・キューブをドラッグすると、視点回転します。



面

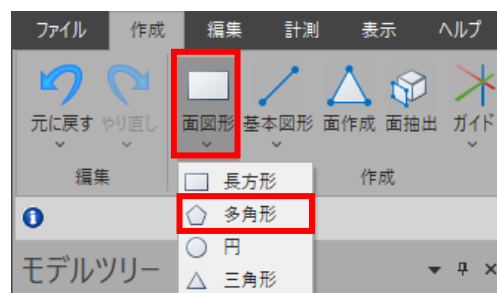


辺

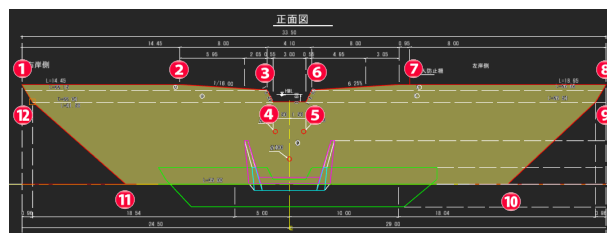


頂点

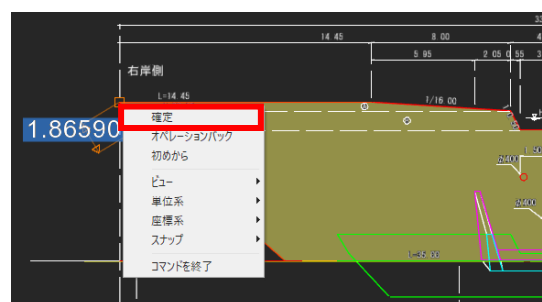
【面図形】 - 【多角形】 をクリックします。



本堤の形に沿って面を作成します。
本堤の各頂点をクリックします。(12箇所)



【右クリック】 - 【確定】 をクリックします。



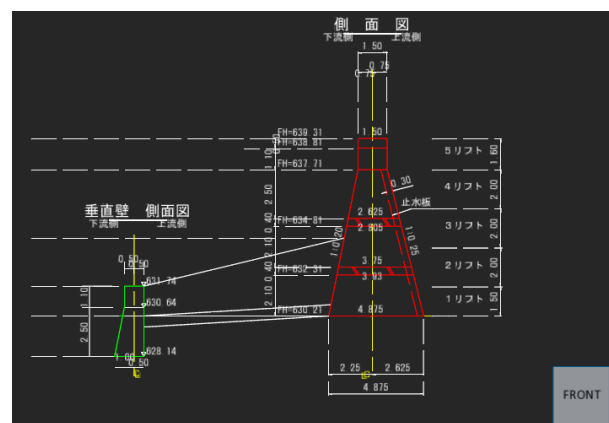
次に側面図を利用して面を作成します。
右ドラッグで側面図が見える向きに視点を変更します。



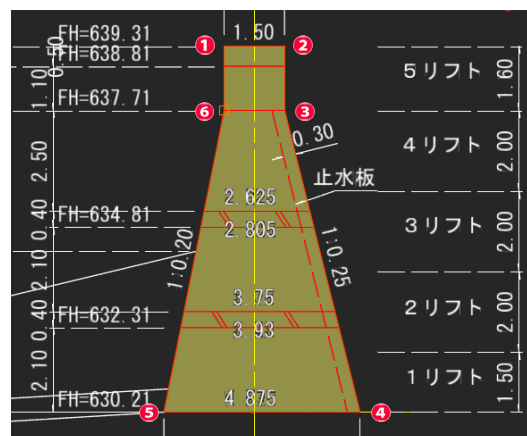
ポイント

【多角形】コマンド起動中は視点が軸方向に固定されます。

コマンド起動中の視点変更が難しい場合は、一旦 Esc キーを押してコマンドを終了し、視点変更後に【面図形】 - 【多角形】を起動してください。

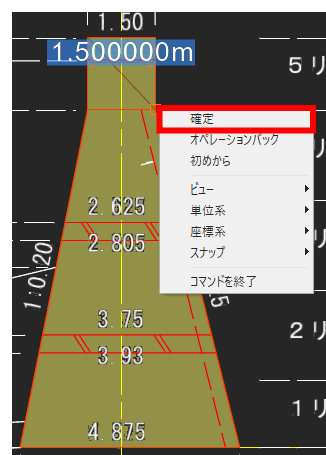


本堤の形に沿って面を作成します。
本堤の各頂点をクリックします。(6箇所)

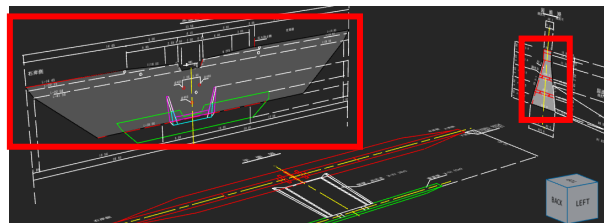


[右クリック] - [確定] をクリックします。

Esc キーを押してコマンドを終了します。

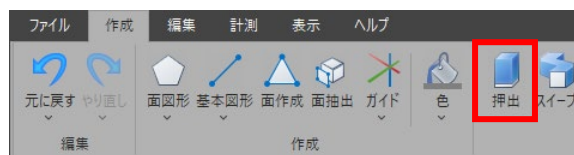


2つの面の作成が完了しました。

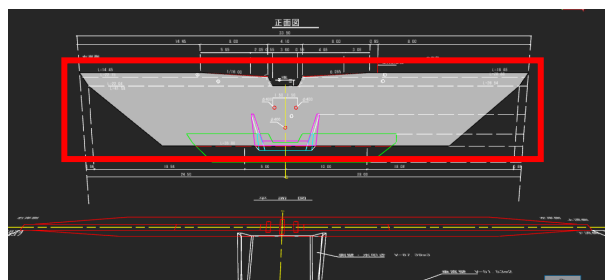


3-2 面を押し出す

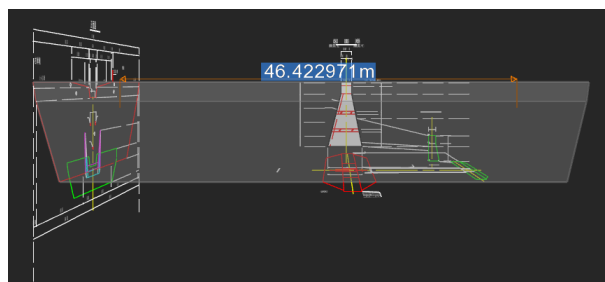
面を押し出して立体（ソリッド）を作成します。
[押出] をクリックします。



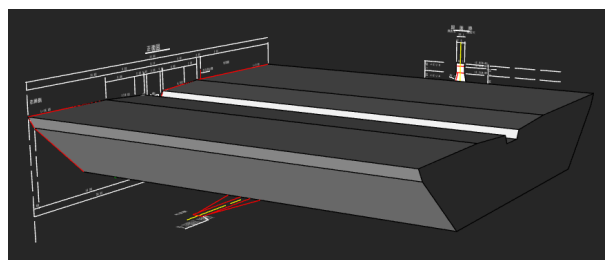
正面図に作成した面をクリックします。



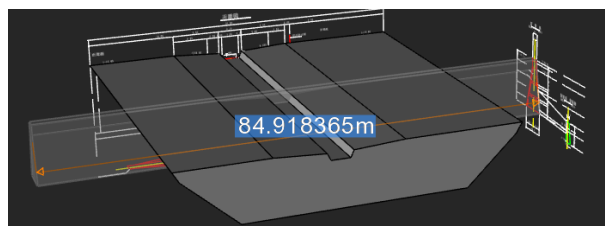
側面図を超える位置まで押し出してクリックします。



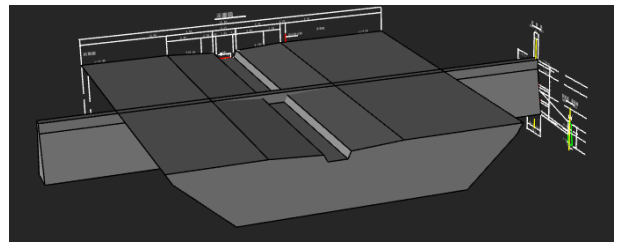
正面図側の面を押し出したモデルが作成できました。



同様の手順で、側面図に作成した面も押し出してモデルを作成します。
側面図に作成した面をクリックし、正面図を超える位置まで押し出します。



2つの面の押し出しが完了しました。



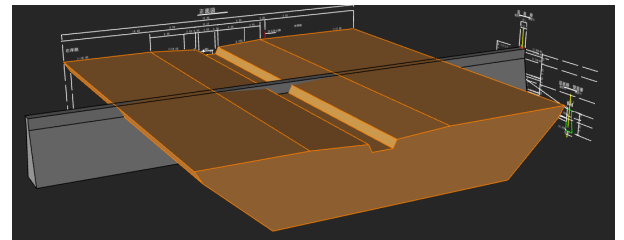
3-3 モデルを抽出する

2つのモデルの重なった部分を抽出し、新たなモデルを作成します。

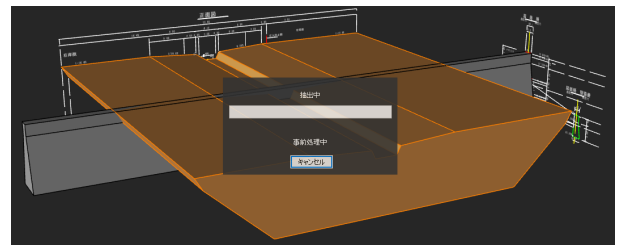
「編集」タブをクリックし、「抽出」 - 「単独」をクリックします。



1つ目のモデルを指定します。
正面図から押し出したモデルをクリックします。

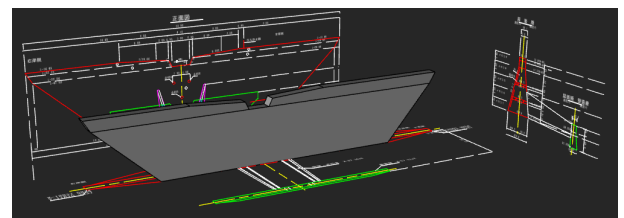


2つ目のモデルを指定します。
側面図から押し出したモデルをクリックします。

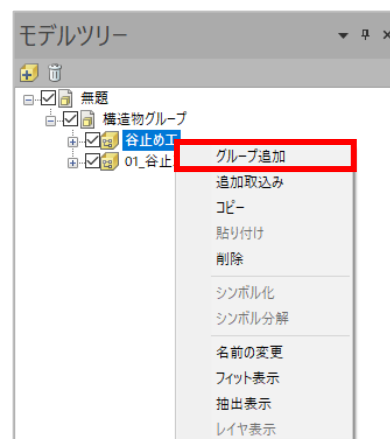


2つのモデルの重なった部分が抽出され、本堤のモデルが作成できました。

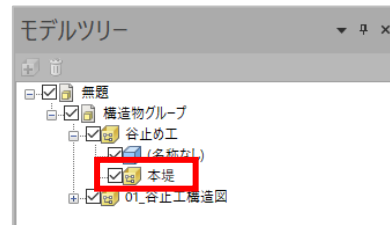
Esc キーを押してコマンドを終了します。



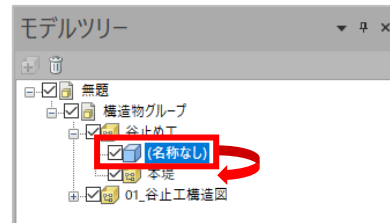
モデルツリーを整理します。
「谷止め工」グループをクリックします。
選択後、「右クリック」 - 「グループ追加」をクリックします。



名前は「本堤」と入力します。



「名称なし」を選択し、「本堤」グループにドラッグで移動します。



モデルの色・透過度について

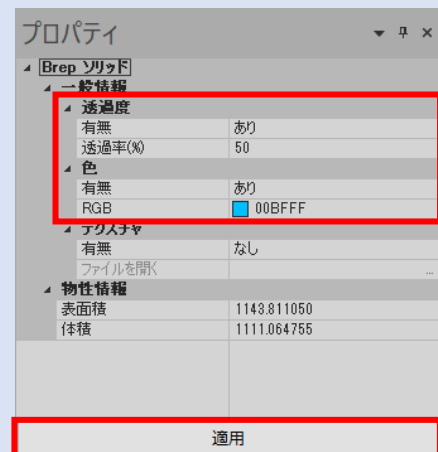
モデルを選択後、プロパティ欄にて色・透過度の変更ができます。

①色の変更

プロパティの色欄にて、「有無」を「あり」、「RGB」を任意の色にすることで色の変更ができます。

②透過度の変更

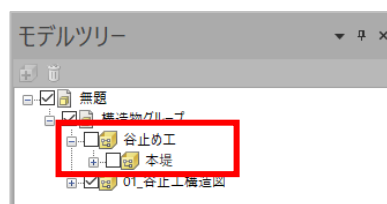
プロパティの透過度欄にて、「有無」を「あり」、「透過率(%)」を任意の数値にすることで透過度の変更ができます。



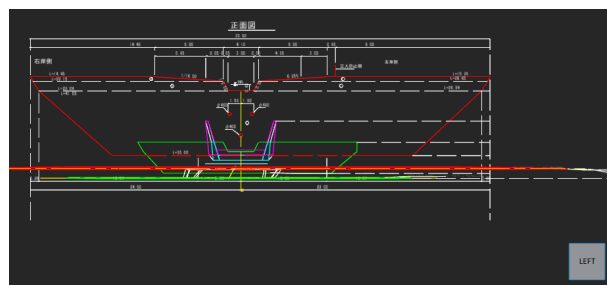
3-4 水抜き管を作成する

本堤に水抜き管の穴を開けます。
まずは穴あけ用のモデルを作成します。

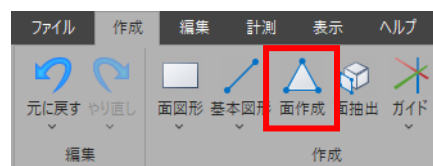
次の操作に向けてモデルを非表示にします。
モデルツリーより、「谷止め工」グループのチェックを外します。



正面図を利用して面を作成します。
右ドラッグで正面図が見える向きに視点を変更します。



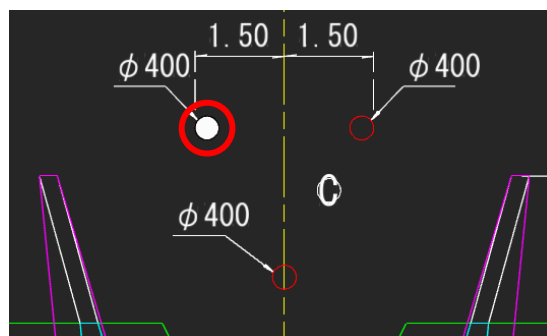
【作成】タブをクリックし、【面作成】をクリックします。



水抜き管の円をクリックします。
選択後、【右クリック】 - 【確定】をクリックします。

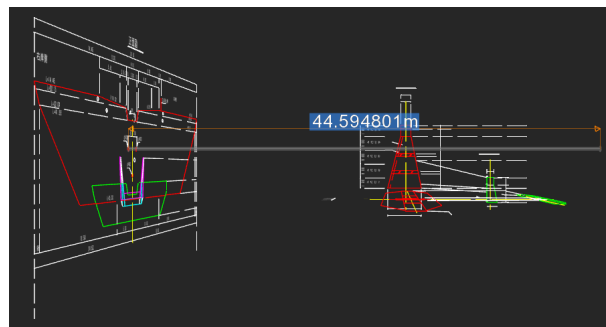


面が作成できました。



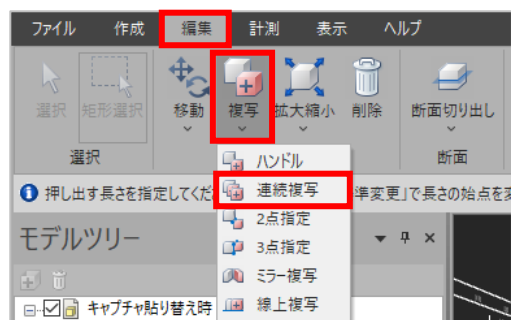
「押出」をクリックします。

先ほど作成した面をクリックし、本堤を超える位置まで押し出します。



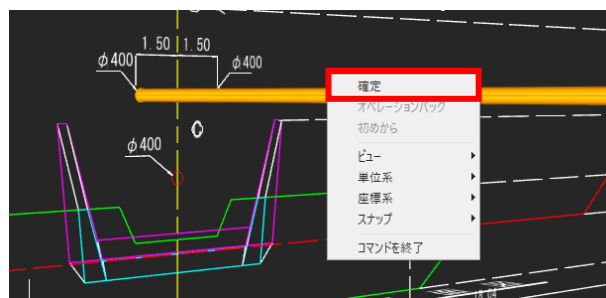
作成した水抜き管を複製します。

「編集」タブをクリックし、「複製」 - 「連続複製」をクリックします。



水抜き管をクリックします。

選択後、「右クリック」 - 「確定」をクリックします。

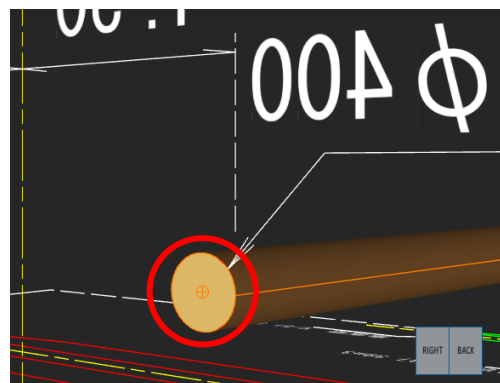


画面左下のスナップモードを変更します。

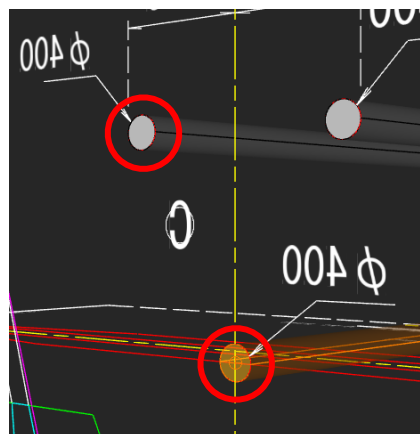
「交点」、「中心点」を有効、「端点」を無効にします。



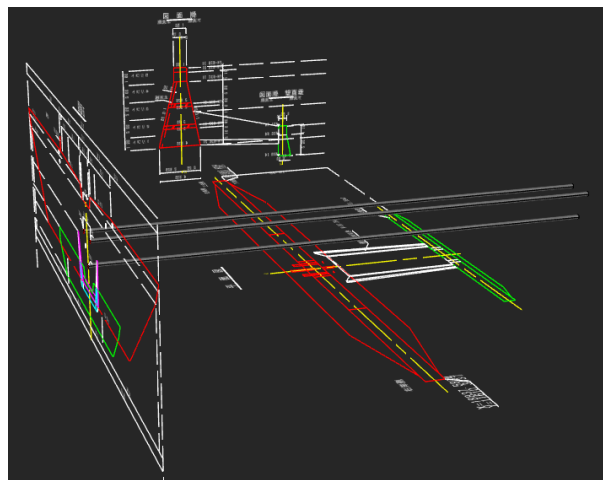
複製の基準点として円の中心点をスナップします。
円周上にマウスを近付け、中心点をスナップしたところでクリックします。



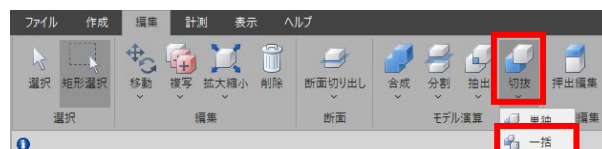
複写先は残り2箇所の水抜き管の中心点です。
それぞれ、中心点をクリックします。



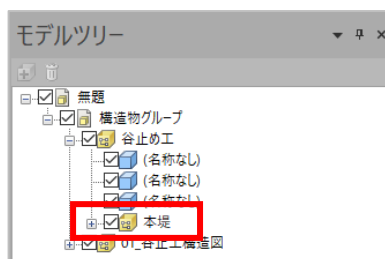
水抜き管の穴開け用のモデルが作成できました。
Esc キーを押してコマンドを終了します。



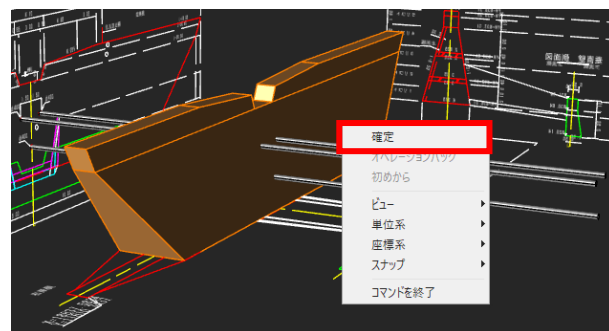
本堤に水抜き穴を開けます。
[切抜] - [一括] をクリックします。



モデルツリーの「本堤」グループにチェックを付け、
モデルを表示させます。



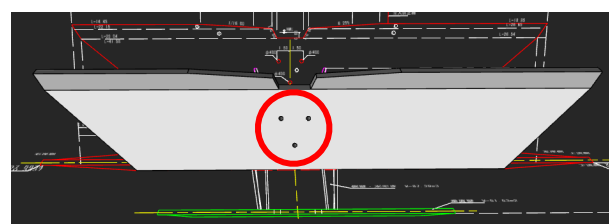
切り抜かれるモデルは本堤をクリックします。
選択後、[右クリック] – [確定] をクリックします。



切り抜くモデルは水抜き管 3 本をドラッグします。
選択後、[右クリック] – [確定] をクリックします。



本堤に水抜き管の穴が作成されました。
Esc キーを押してコマンドを終了します。



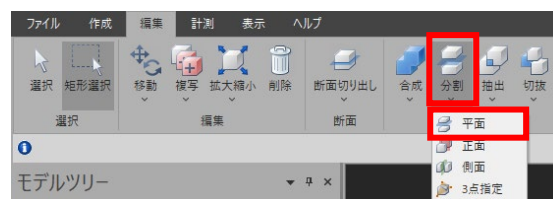
画面左下のスナップモードを変更します。
[端点]、[交点] を有効、[中心点] を無効にします。



3-5 リフト割を行う

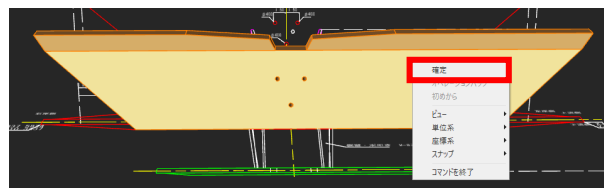
リフトごとに本堤を分割します。

[分割] → [平面] をクリックします。



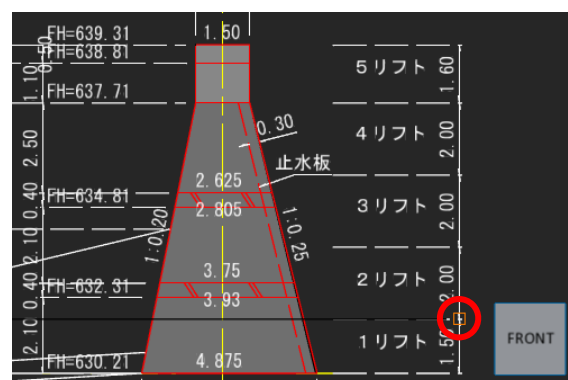
本堤をクリックします。

選択後、[右クリック] - [確定] をクリックします。

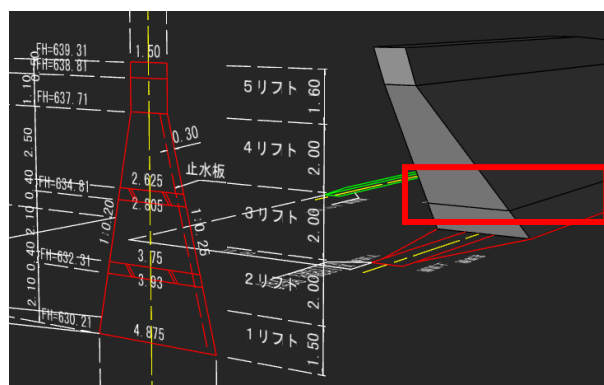


側面図を利用して分割位置を指定します。

1 リフトの分割位置をクリックします。



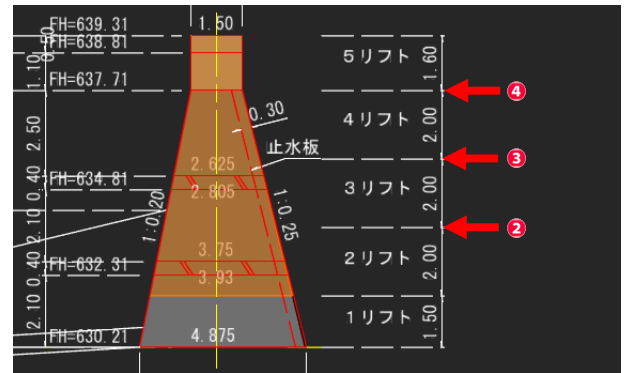
1 リフトの高さで本堤が分割されました。



同様に [分割] コマンドを繰り返し、本堤を分割します。

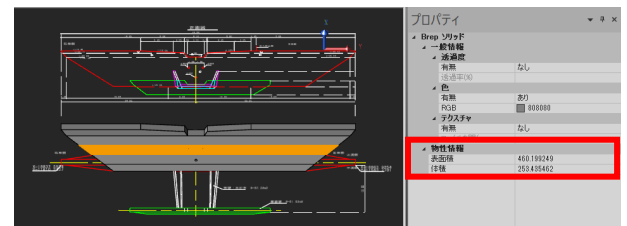
※分割位置は右図の②③④の位置です。

Esc キーを押してコマンドを終了します。



本堤が5つのリフトに分割されました。

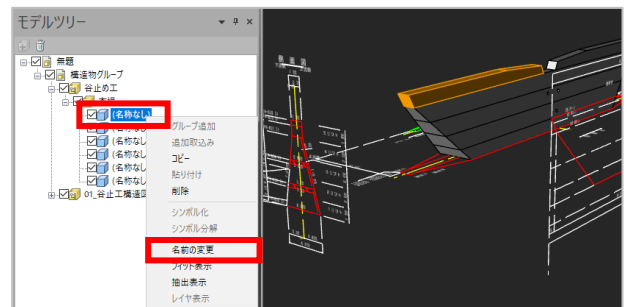
プロパティにて、選択したリフトごとの表面積や体積を確認できます。



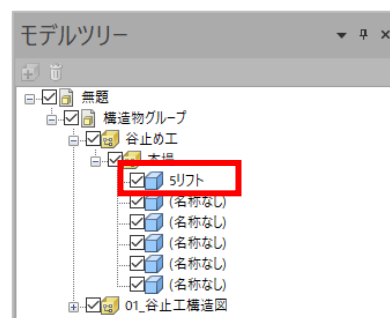
モデルツリーを整理します。

「(名称なし)」をクリックします。

選択後、[右クリック] → [名前の変更] をクリックします。

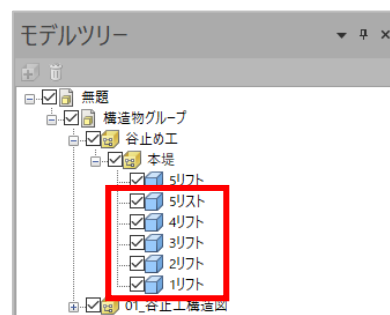


名前は「5 リフト」と入力します。



同様の操作で、各モデルの名前を変更します。

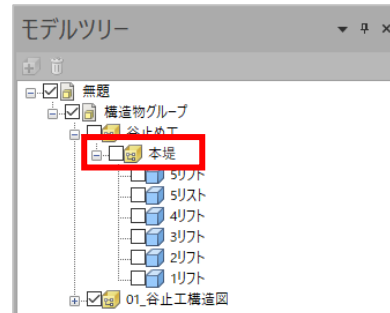
※「5 リフト」は左右で分かれるため2 つあります。



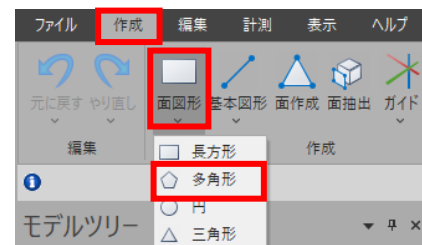
4 副堤を作成する

4-1 面を作成する

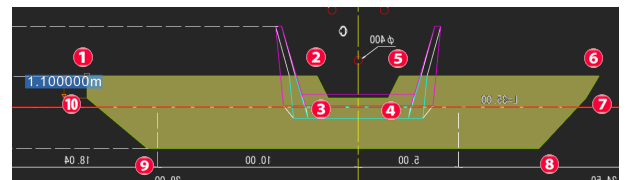
本堤と同様の手順で副堤を作成します。
次の操作に向けてモデルを非表示にします。
モデルツリーより、「本堤」グループのチェックを外します。



【作成】タブをクリックし、【面図形】→【多角形】をクリックします。



副堤の形に沿って面を作成します。
副堤の各頂点をクリックします。(10箇所)



【右クリック】 - 【確定】をクリックします。



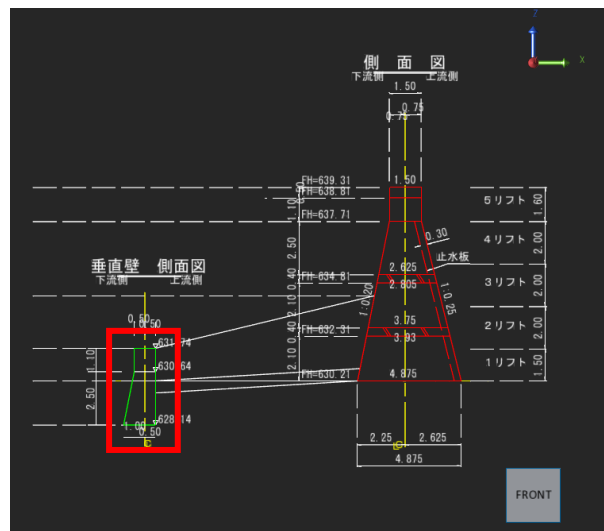
次に側面図を利用して面を作成します。
右ドラッグで側面図が見える向きに視点を変更します。



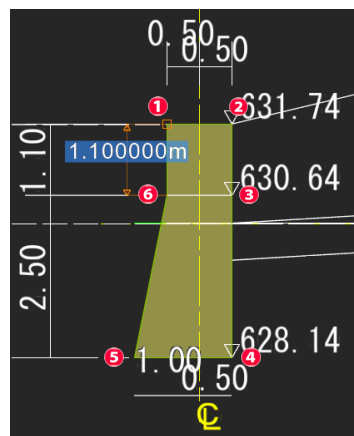
ポイント

〔多角形〕コマンド起動中は視点が軸方向に固定されます。

コマンド起動中の視点変更が難しい場合は、一旦 Esc キーを押してコマンドを終了し、視点変更後に〔面図形〕 - 〔多角形〕を起動してください。



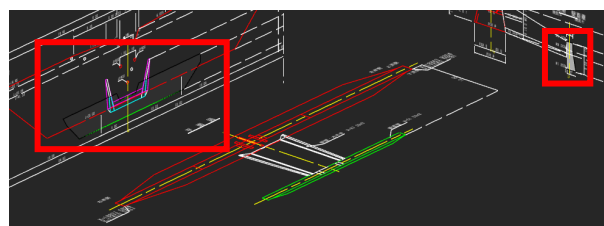
副堤の形に沿って面を作成します。
副堤の各頂点をクリックします。(6箇所)



〔右クリック〕 - 〔確定〕をクリックします。
Esc キーを押してコマンドを終了します。



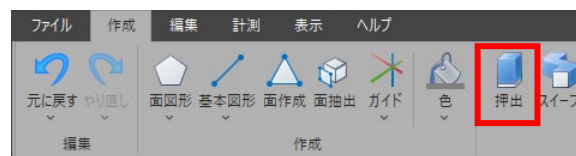
2つの面の作成が完了しました。



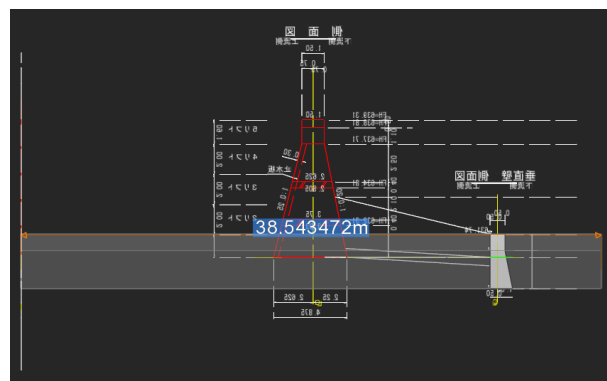
4-2 面を押し出す

面を押し出して立体（ソリッド）を作成します。

[押出] をクリックします。

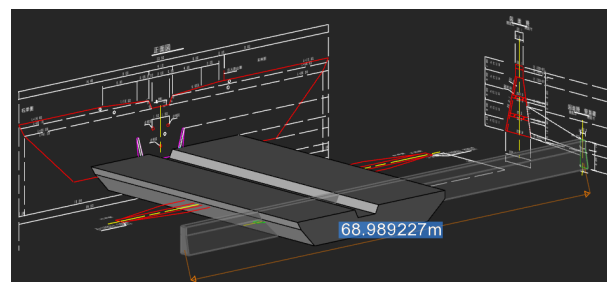


正面図に作成した面をクリックし、側面図を超える位置まで押し出します。

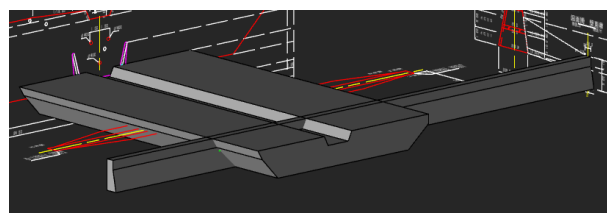


同様の手順で、側面図に作成した面も押し出してモデルを作成します。

側面図に作成した面をクリックし、正面図を超える位置まで押し出します。



2つの面の押し出しが完了しました。



4-3 モデルを抽出する

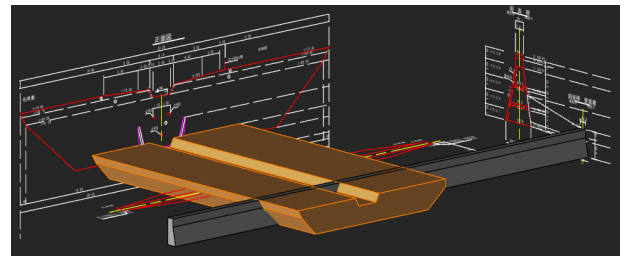
2つのモデルの重なった部分を抽出し、新たなモデルを作成します。

【編集】タブをクリックし、【抽出】 - 【単独】をクリックします。



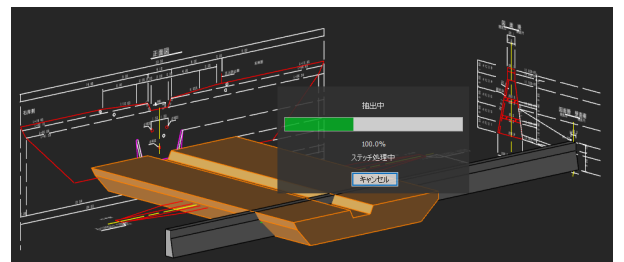
1つ目のモデルを指定します。

正面図から押し出したモデルをクリックします。



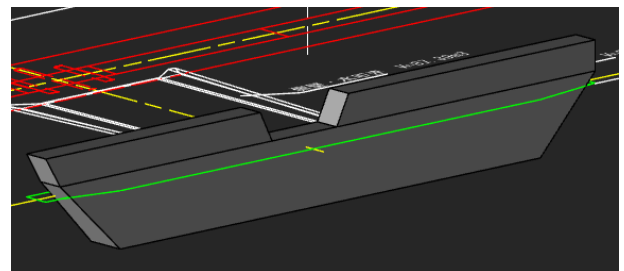
2つ目のモデルを指定します。

側面図から押し出したモデルをクリックします。



2つのモデルの重なった部分が抽出され、副堤のモデルが作成できました。

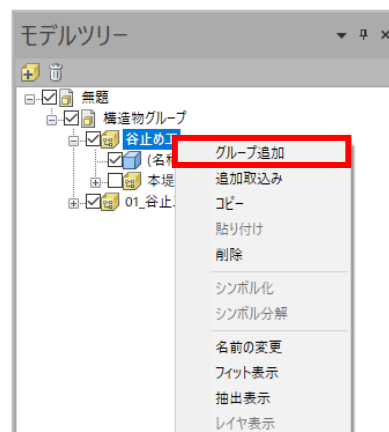
Esc キーを押してコマンドを終了します。



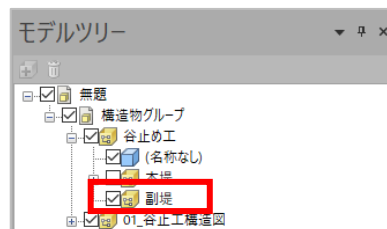
モデルツリーを整理します。

モデルツリーの「谷止め工」グループをクリックします。

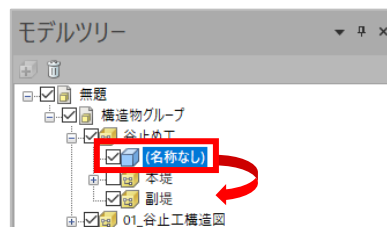
選択後、【右クリック】 - 【グループ追加】をクリックします。



名前は「副堤」と入力します。



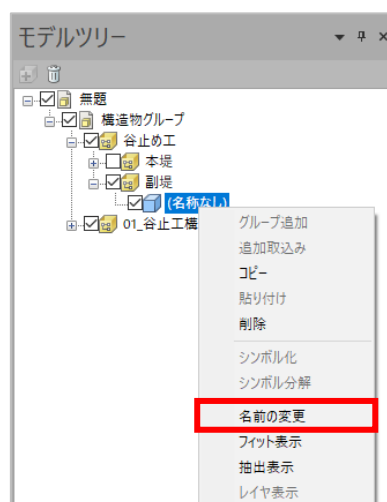
「名称なし」を選択し、「副堤」グループにドラッグで移動します。



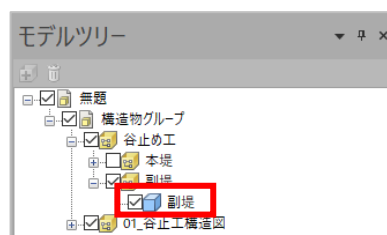
作成したモデルの名前を変更します。

「(名称なし)」をクリックします。

選択後、[右クリック] - [名前の変更] をクリックします。



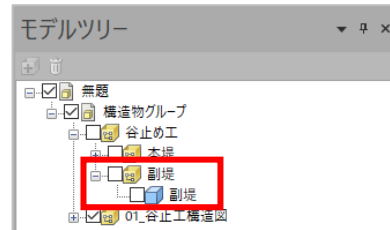
名前は「副堤」と入力します。



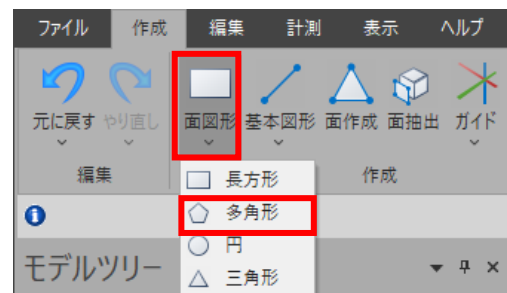
5 水叩きを作成する

5-1 面を作成する

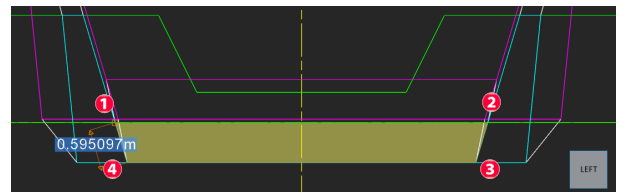
同様の手順で水叩きを作成します。
次の操作に向けてモデルを非表示にします。
モデルツリーより、「副堤」グループのチェックを外します。



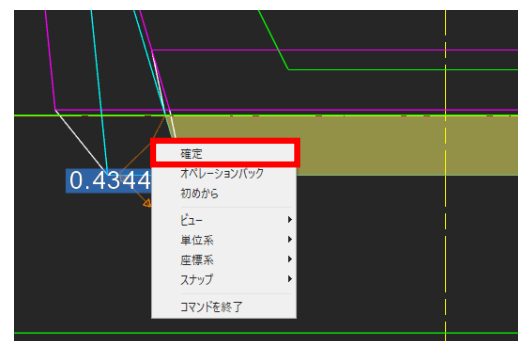
【作成】タブをクリックし、【面図形】 - 【多角形】をクリックします。



水叩きの形に添って面を作成します。
水叩き（副堤側断面）の各頂点をクリックします。
（4箇所）



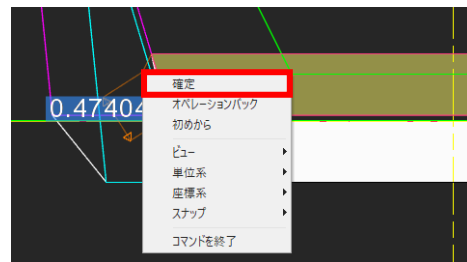
【右クリック】 - 【確定】をクリックします。



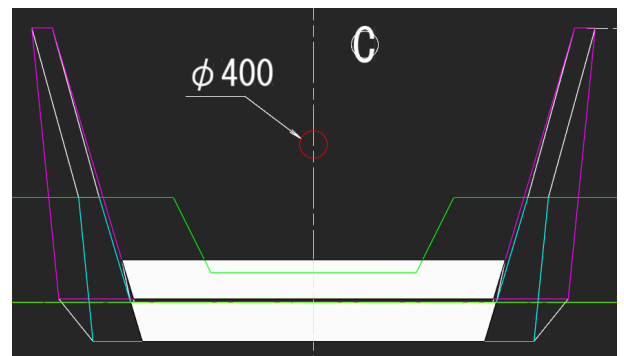
水叩き（本堤側断面）の各頂点をクリックします。
（4箇所）



【右クリック】 - 【確定】 をクリックします。
Esc キーを押してコマンドを終了します。



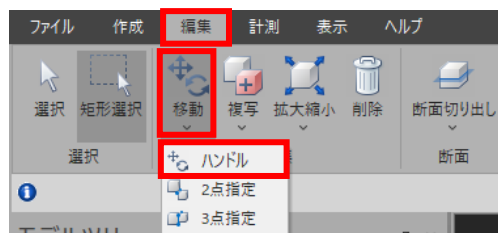
2つの面の作成が完了しました。



5-2 面を移動させる

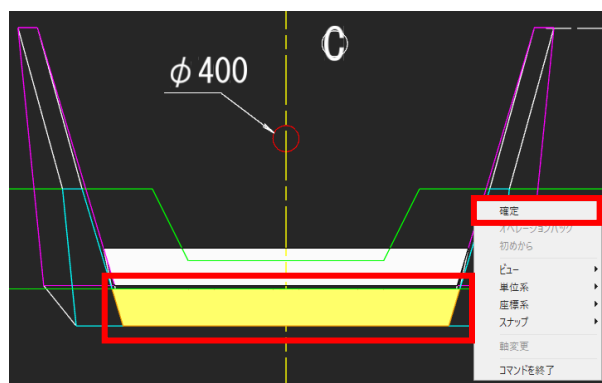
作成した2つの面を移動します。

[編集] タブをクリックし、[移動] - [ハンドル] をクリックします。

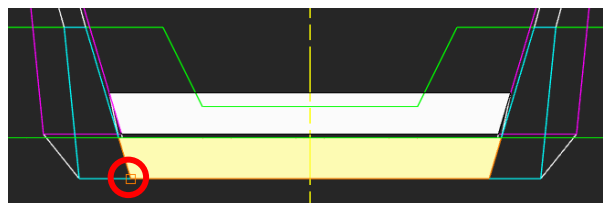


副堤側に作成した面をクリックします。

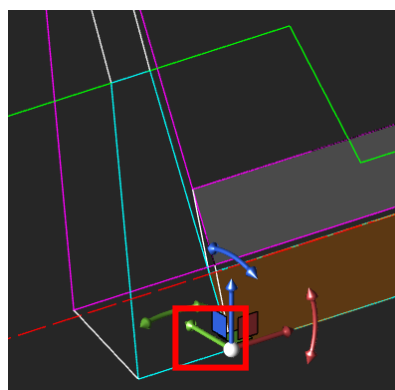
選択後、[右クリック] - [確定] をクリックします。



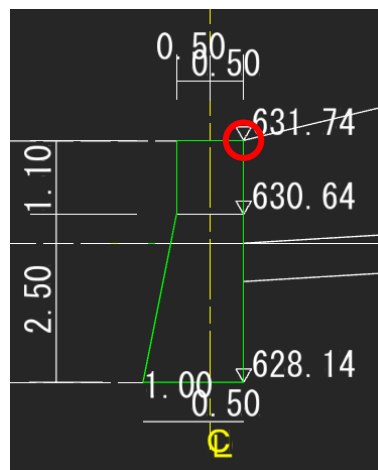
基準点をクリックします。



X 軸方向に動かすため、緑色の移動ハンドルをクリックします。



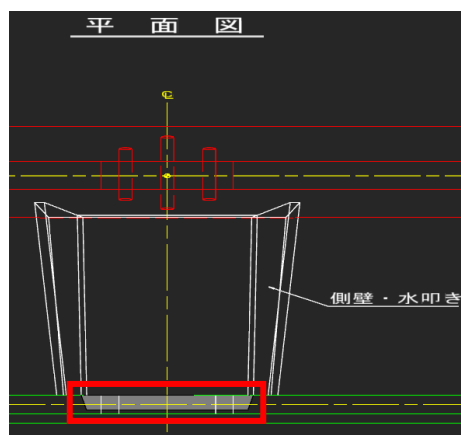
右ドラッグで側面図が見える向きに視点を変更します。
副堤と接する位置でクリックします。



【右クリック】 - 【確定】 をクリックします。

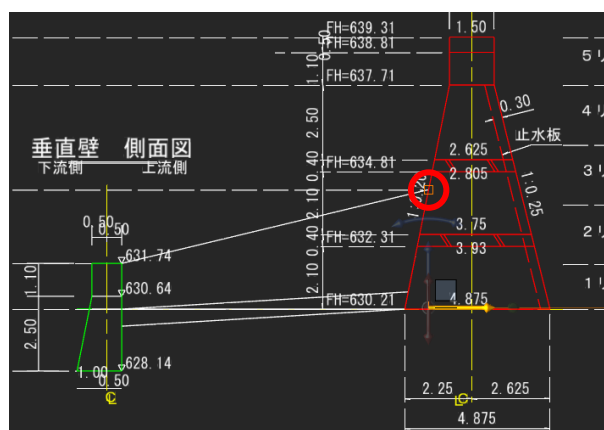


副堤側の面の移動が完了しました。

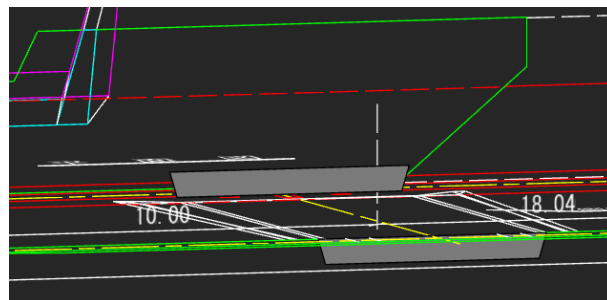


同様の手順で、本堤側の水叩き面を移動します。
※移動コマンドの流れは前項をご確認ください。

本堤と接する位置でクリックします。

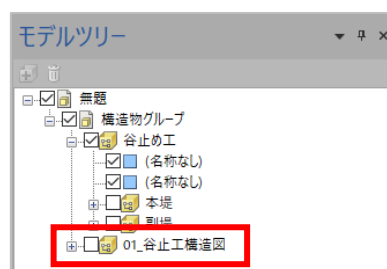


本堤側の面の移動が完了しました。
Esc キーを押してコマンドを終了します。

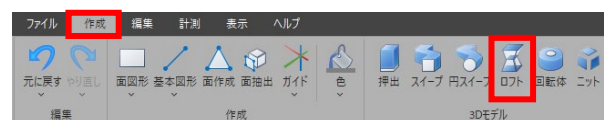


5-3 ロフトを使う

2つの面を繋ぎ合わせてモデルを作成します。
次の操作に向けてモデルを非表示にします。
モデルツリーより、「01_谷止工構造図」のチェックを外します。



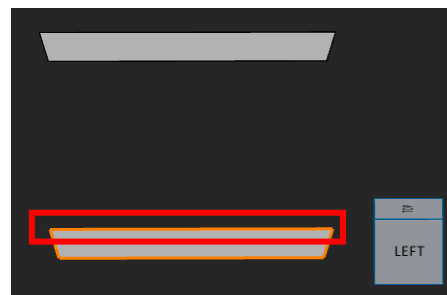
[作成] タブをクリックし、[ロフト] をクリックします。



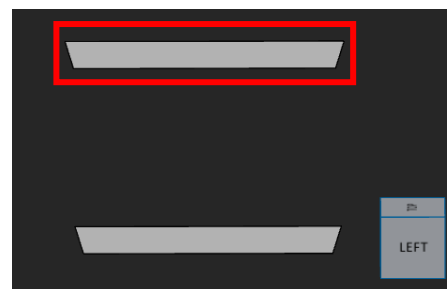
副堤側の面をクリックします。



断面を接続するエッジ（上辺）をクリックします。



本堤側の面をクリックします。

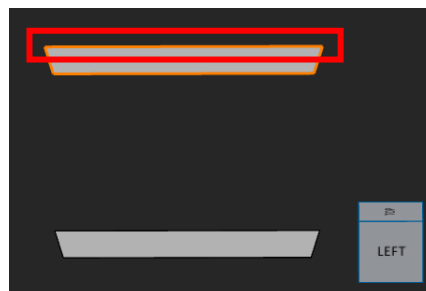


断面を接続するエッジ（上辺）をクリックします。



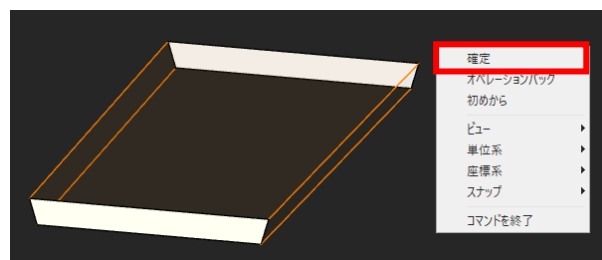
ポイント

本説明では上辺を指定していますが、2つの面で共通するエッジであれば、他の辺を指定しても同じモデルができます。

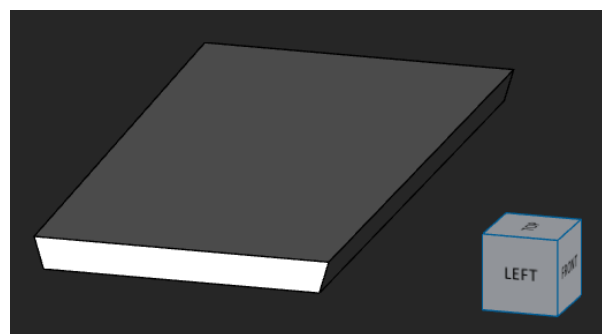


モデルのプレビューが表示されます。

【右クリック】 - 【確定】をクリックします。

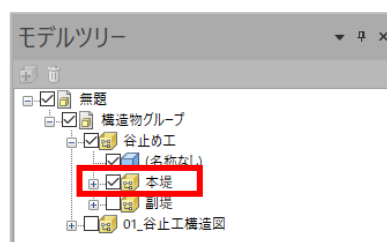


水叩きのモデルが作成できました。

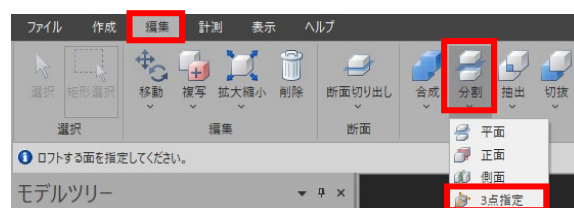


5-4 モデルを分割する

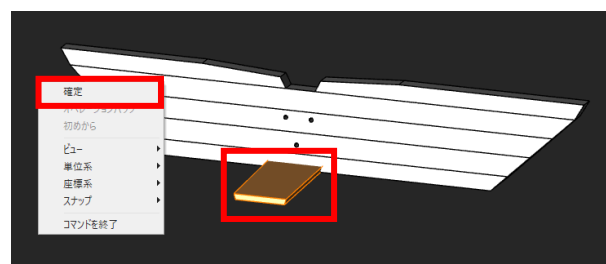
次の操作に向けてモデルを非表示にします。
モデルツリーより、「本堤」グループのチェックを付けます。



水叩きを本堤の勾配に合わせて分割します。
[編集] タブをクリックし、[分割] - [3点指定] をクリックします。



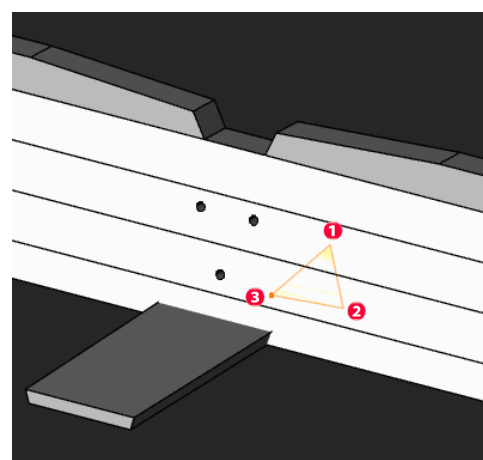
水叩きをクリックします。
選択後、[右クリック] - [確定] をクリックします。



画面左下のスナップモードを変更します。
「端点」、「交点」、「面上」を有効にします。



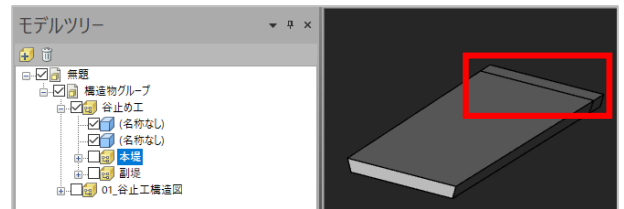
本堤のモデルより、下流側の面上の3点をクリックします。



モデルツリーより、「本堤」グループのチェックを外します。

水叩きが2つに分割されたことを確認します。

Esc キーを押してコマンドを終了します。

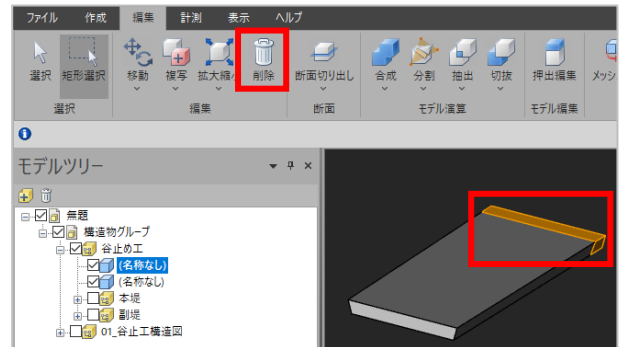


不要なモデルを削除します。

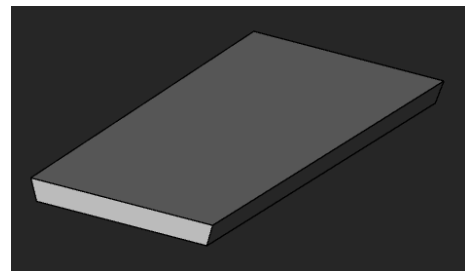
分割され、本堤側に残った水叩きモデルをクリックします。

選択後、[削除] をクリックします。

Esc キーを押してコマンドを終了します。



本堤と重なる部分が削除され、水叩きのモデルが作成できました。



選択先行について

【編集】タブの【移動】、【複写】、【拡大縮小】、【削除】コマンドは、事前に対象モデルを選択し、コマンドを実行することができます。これを「選択先行」と言います。

例：モデルを削除したい場合

通常

1. 【編集】タブー【削除】を起動
2. 対象モデルを選択
3. 【右クリック】－【確定】
4. 削除完了

選択先行

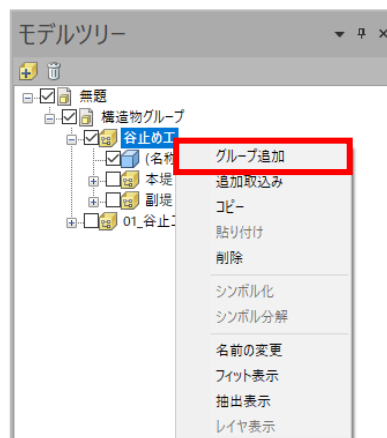
1. 対象モデルを選択
2. 【編集】タブー【削除】を起動
3. 削除完了

また、【削除】コマンドは、キーボードの Delete キーにショートカットが割り当てられています。

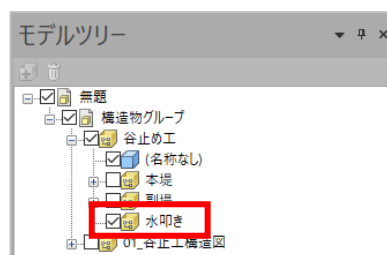
モデルツリーを整理します。

モデルツリーの「谷止め工」グループをクリックします。

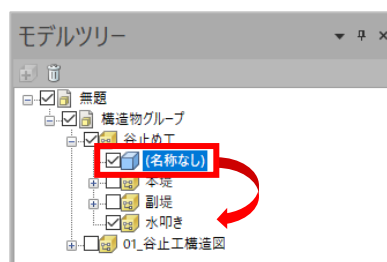
選択後、[右クリック] - [グループ追加] をクリックします。



名前は「水叩き」と入力します。



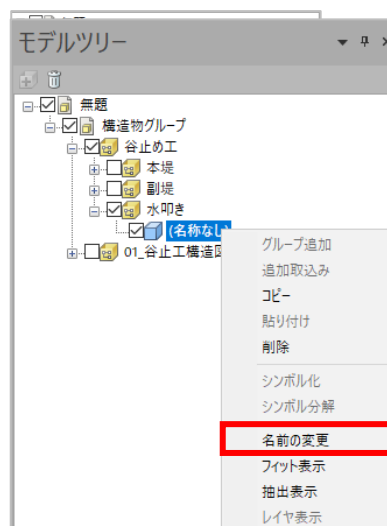
「名称なし」を選択し、「水叩き」グループにドラッグで移動します。



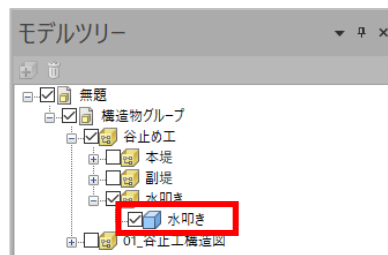
作成したモデルの名前を変更します。

「(名称なし)」をクリックします。

選択後、[右クリック] - [名前の変更] をクリックします。



名前は「水叩き」と入力します。

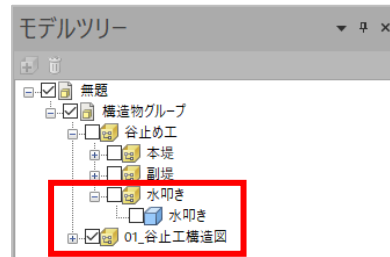


6 側壁を作成する

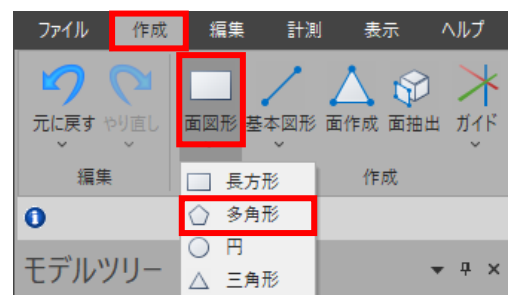
6-1 面を作成する

側壁を作成します。

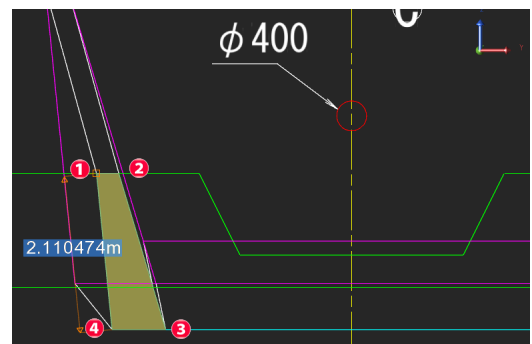
次の操作に向けて、モデルの表示状態を調整します。
モデルツリーより、「水叩き」のチェックを外し、
「01_谷止工構造図」のチェックを付けます。



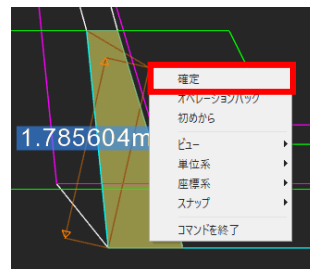
【作成】タブをクリックし、【面図形】 - 【多角形】
をクリックします。



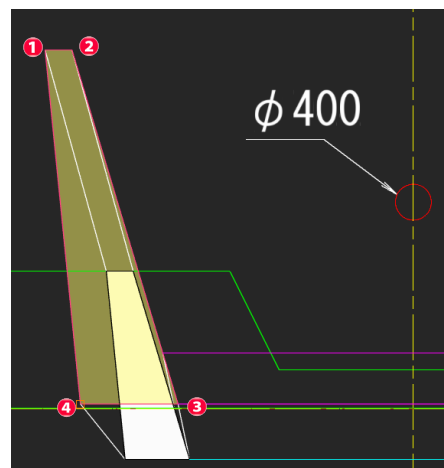
右岸側の側壁から作成します。
側壁（副堤側断面）の各頂点をクリックします。
（4箇所）



【右クリック】 - 【確定】をクリックします。

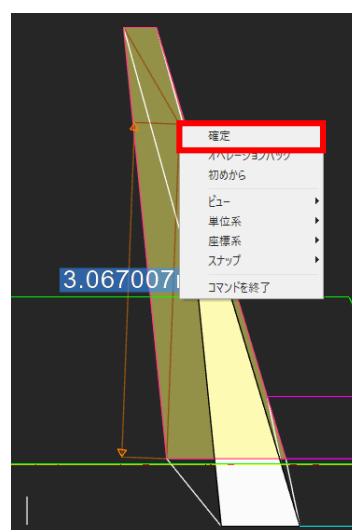


同様の手順で、本堤側の断面を作成します。
側壁（本堤側断面）の各頂点をクリックします。
（4箇所）

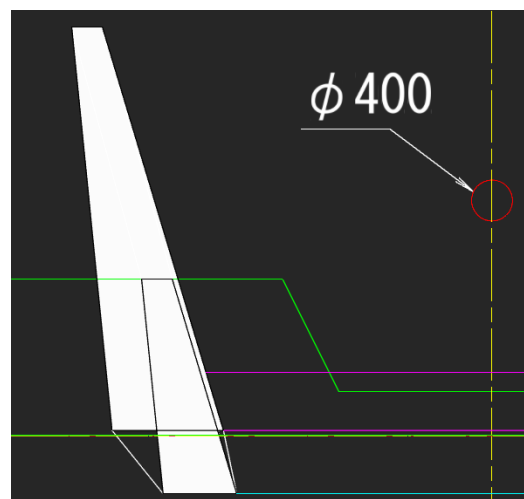


〔右クリック〕 – 〔確定〕 をクリックします。

Esc キーを押してコマンドを終了します。



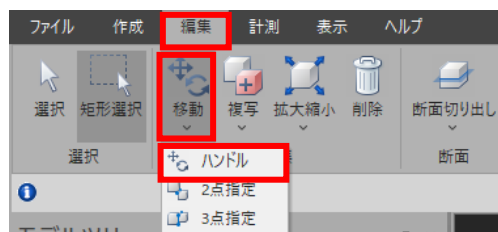
2つの面の作成が完了しました。



6-2 面を移動させる

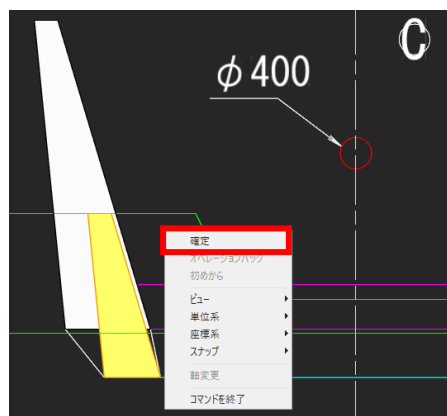
作成した2つの面を移動します。

【編集】タブをクリックし、【移動】－【ハンドル】をクリックします。

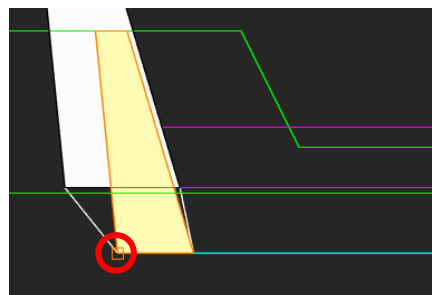


副堤側に作成した面をクリックします。

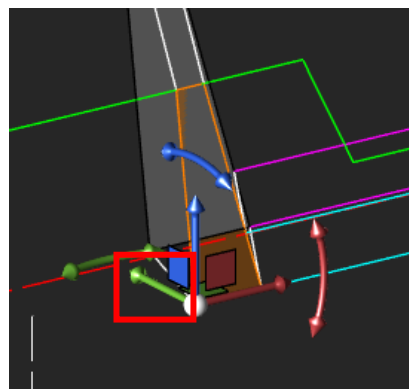
選択後、【右クリック】－【確定】をクリックします。



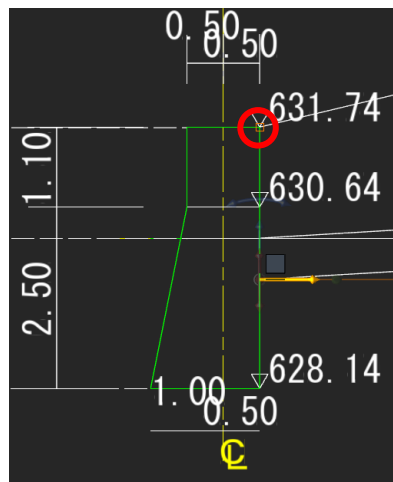
基準点をクリックします。



X 軸方向に動かすため、緑色の移動ハンドルをクリックします。



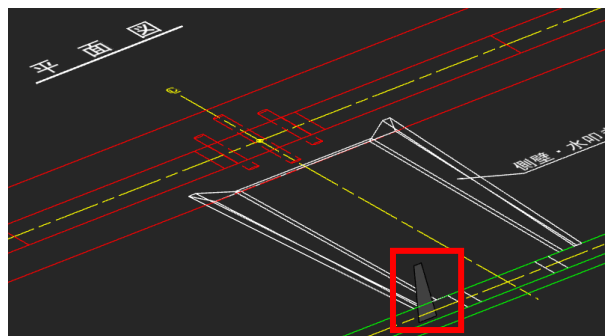
右ドラッグで側面図が見える向きに視点を変更します。
副堤と接する位置でクリックします。



【右クリック】 - 【確定】 をクリックします。

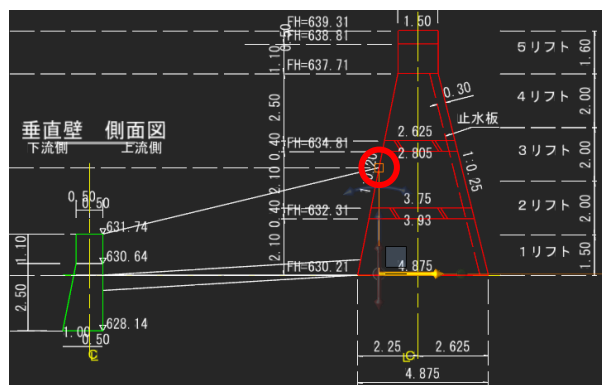


副堤側の面の移動が完了しました。



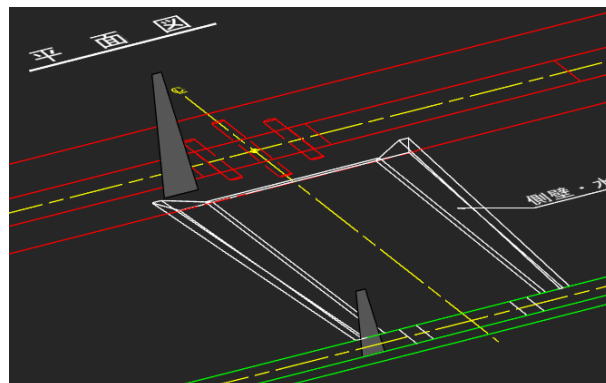
同様の手順で、本堤側の側壁面を移動します。
※移動コマンドの流れは前項をご確認ください。

本堤と接する位置でクリックします。



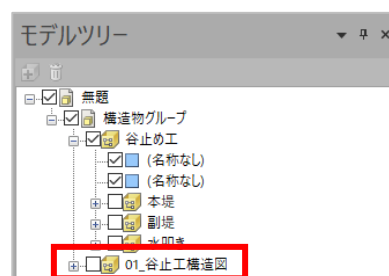
本堤側の面の移動が完了しました。

Esc キーを押してコマンドを終了します。

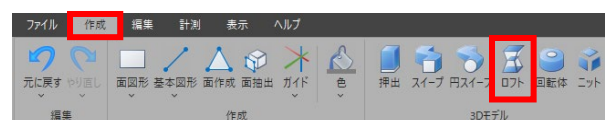


6-3 ロフトを使う

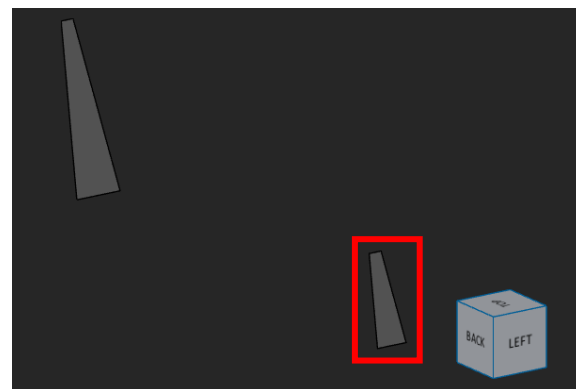
2つの面を繋ぎ合わせてモデルを作成します。
次の操作に向けてモデルを非表示にします。
モデルツリーより、「01_谷止工構造図」のチェックを外します。



[作成] タブをクリックし、[ロフト] をクリックします。



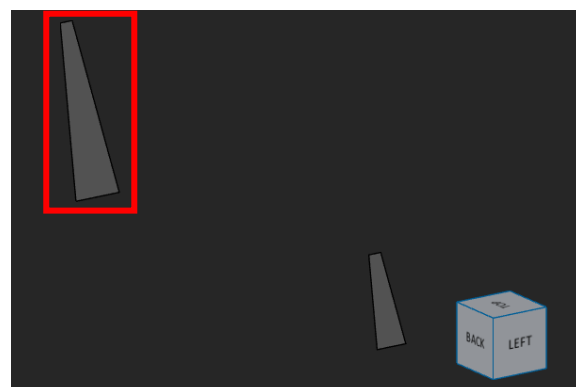
副堤側の面をクリックします。



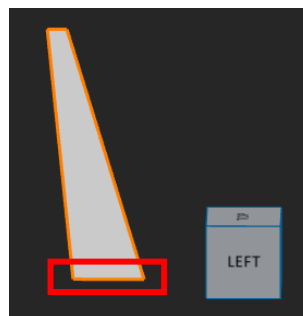
断面を接続するエッジ（下辺）をクリックします。



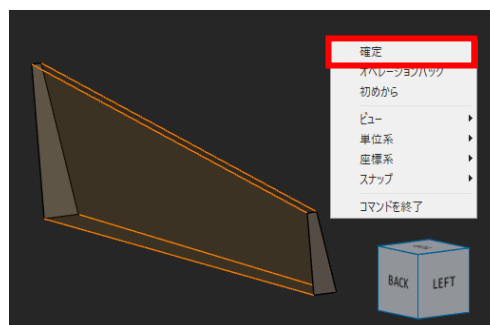
本堤側の面をクリックします。



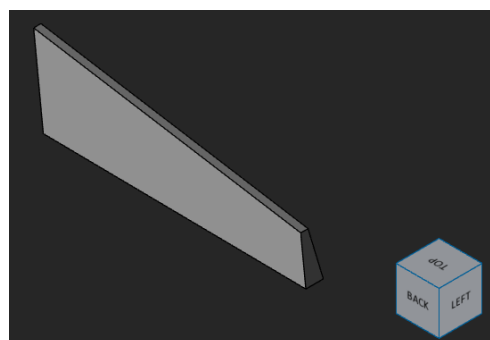
断面を接続するエッジ（下辺）をクリックします。



モデルのプレビューが表示されます。
[右クリック] - [確定] をクリックします。

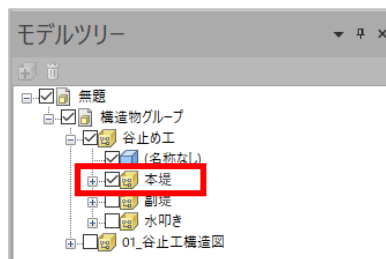


右岸側の側壁のモデルが作成できました。

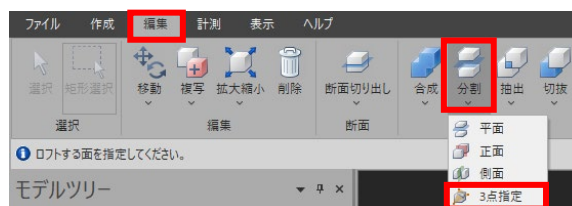


6-4 モデルを分割する

次の操作に向けてモデルを非表示にします。
モデルツリーより、「本堤」グループのチェックを付けます。



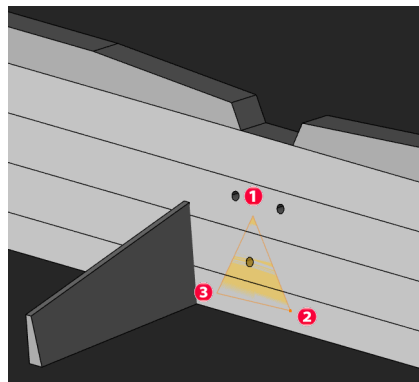
側壁を本堤の勾配に合わせて分割します。
[編集] タブをクリックし、[分割] - [3点指定]
をクリックします。



側壁をクリックします。
選択後、[右クリック] - [確定] をクリックします。



本堤のモデルより、下流側の面上の 3 点をクリック
します。

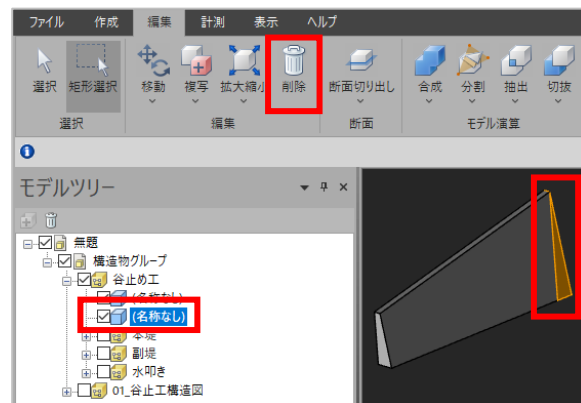


モデルツリーより、「本堤」グループのチェックを外
します。
側壁が 2 つに分割されたことを確認します。

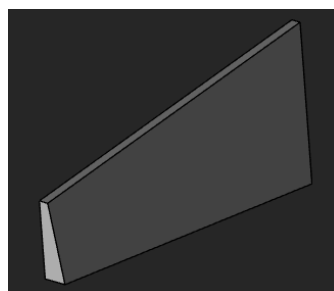
Esc キーを押してコマンドを終了します。



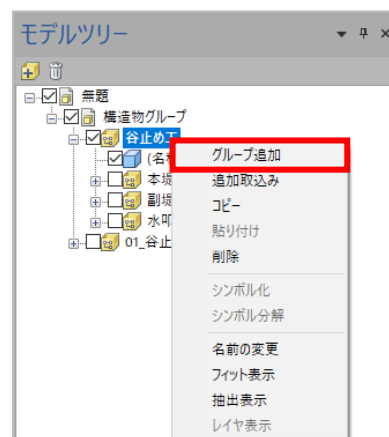
不要なモデルを削除します。
 分割され、本堤側に残った側壁モデルをクリックします。
 選択後、[削除] をクリックします。



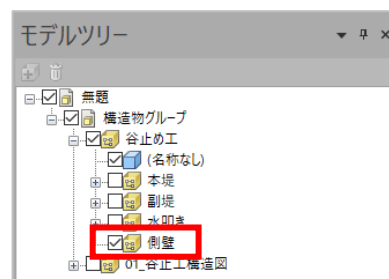
本堤と重なる部分が削除され、側壁のモデルが作成できました。



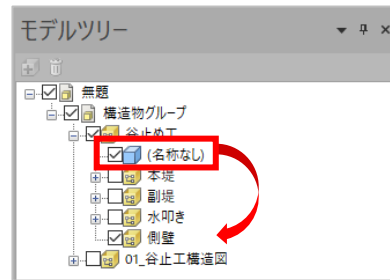
モデルツリーを整理します。
 モデルツリーの「谷止め工」グループをクリックします。
 選択後、[右クリック] - [グループ追加] をクリックします。



名前は「側壁」と入力します。



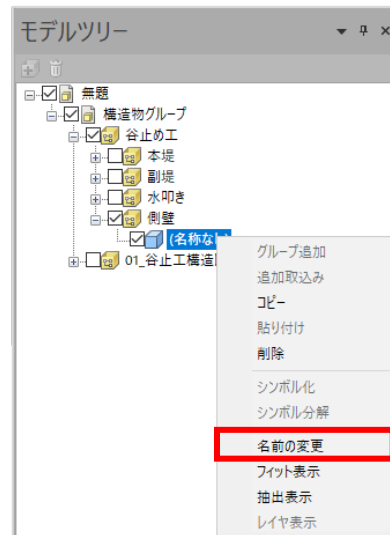
「名称なし」を選択し、「側壁」グループにドラッグで移動します。



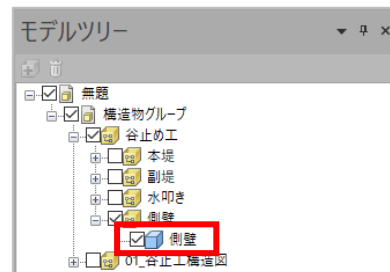
作成したモデルの名前を変更します。

「(名称なし)」をクリックします。

選択後、[右クリック] - [名前の変更] をクリックします。



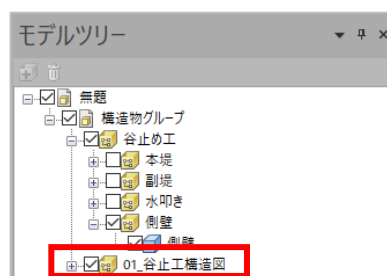
名前は「側壁」と入力します。



6-4 モデルを複製する

右岸側に作成した側壁をミラー複製し、左岸側のモデルを作成します。

次の操作に向けて、モデルの表示状態を調整します。
モデルツリーより、「01_谷止工構造図」のチェックを付けます。

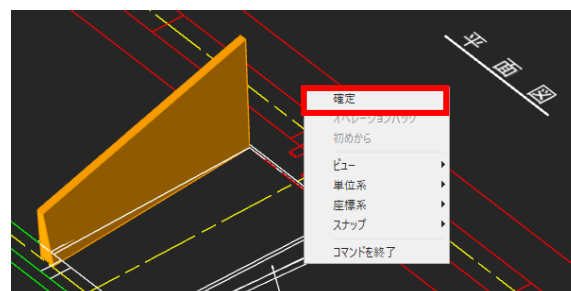


【複製】 - 【ミラー複製】 をクリックします。



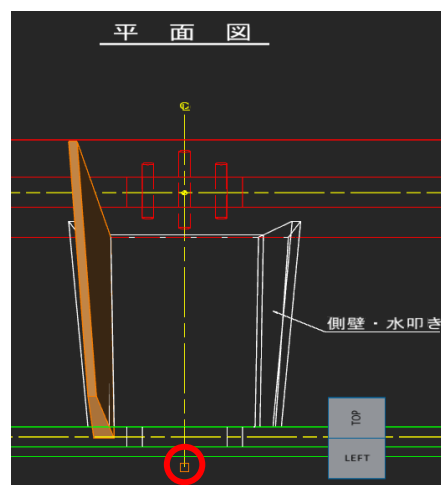
側壁をクリックします。

選択後、【右クリック】 - 【確定】 をクリックします。

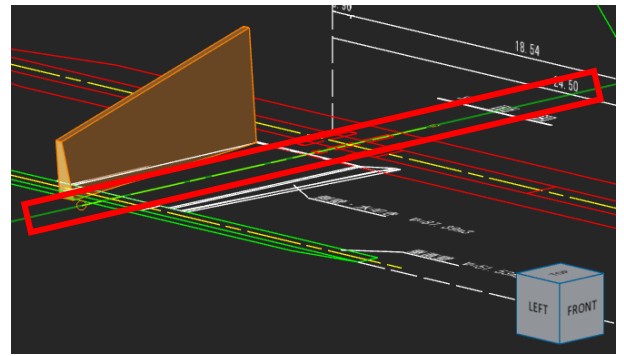


反転の基準面を確定します。

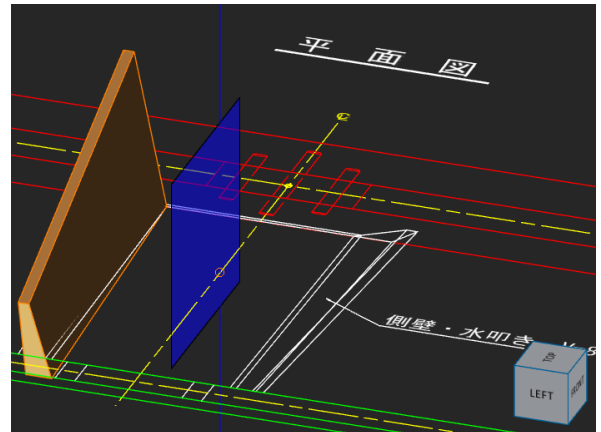
1 点目は平面図の CL 線の端部をクリックします。



2点目は X 軸方向にマウスを動かし、緑色（X 軸方向）の軸方向線が表示された状態でクリックします。

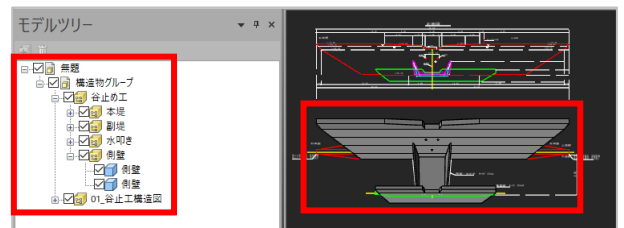


3点目は Z 軸方向にマウスを動かし、青色（XZ 平面）の基準面が表示された状態でクリックします。



左岸壁の側壁ができました。
これですべてのモデルの作成が完了しました。

モデルツリーより、すべてのモデルにチェックを付け、作成したモデルを確認します。



7 座標を割り付ける

7-1 座標を変換する

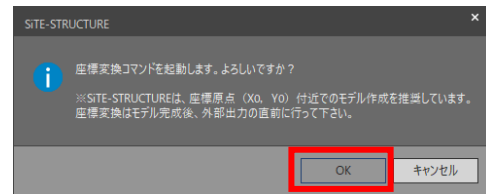
作成したモデルを他の INNOSiTE 製品や快測ナビで
利用する場合は、公共座標への変換を行います。

[座標変換] をクリックします。

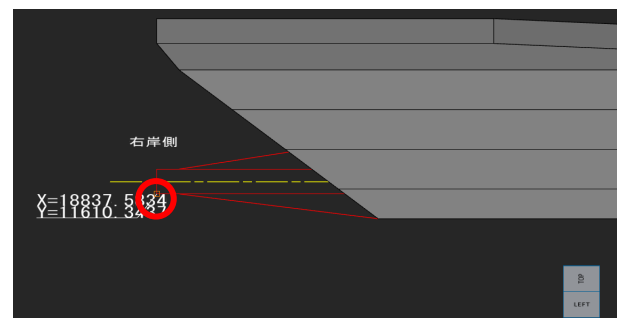


確認メッセージが表示されます。

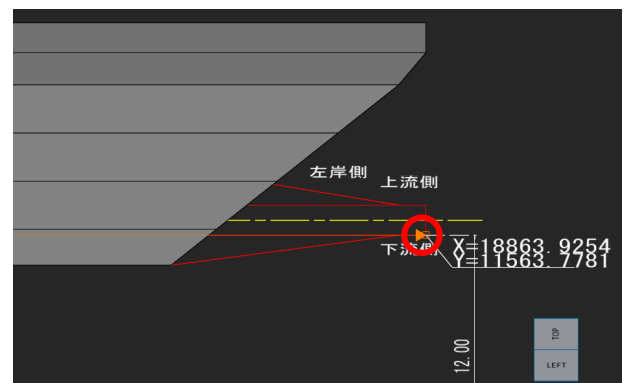
[OK] をクリックします。



本堤の両端の位置で座標を変換します。
移動元始点をクリックします。



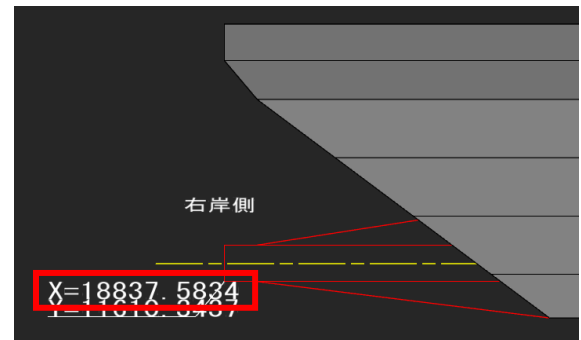
移動元終点をクリックします。



座標変換画面が表示されます。

移動先始点の X 座標欄のスポイトをクリックします。

平面図の引き出し線より、X の値をクリックします。



値が取得できました。

同様の手順で、他の座標値もスポイトを使用して取得します。

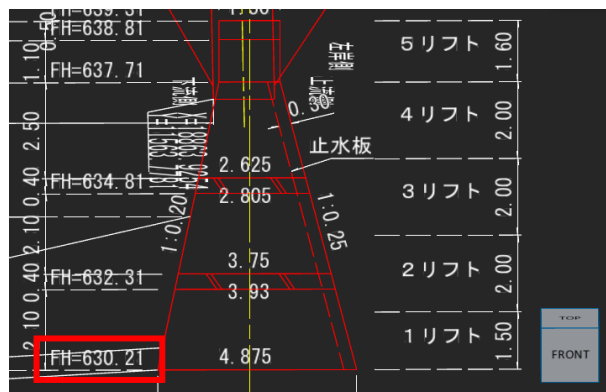
移動先始点・終点の座標値が取得できました。

次に移動先の標高を取得します。

標高欄のスポイトをクリックします。

側面図より、本堤の底面の標高（FH=630.21）をクリックします。

※移動元の始点として指定した平面図の高さは、側面図の本体底面と同じ高さのため、移動先の標高に本堤の底面標高（FH=630.21）を取得します。



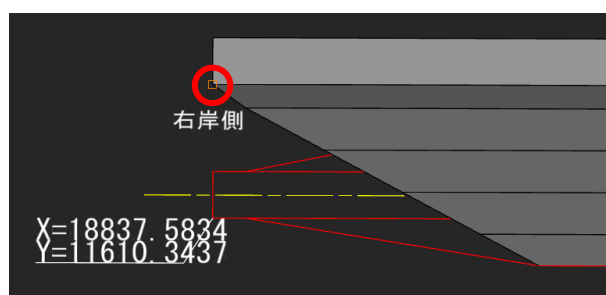
[OK] をクリックします。

変換後の座標値を確認します。

[計測] タブをクリックし、[座標] をクリックします。

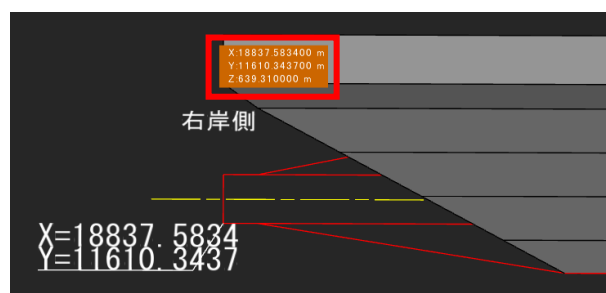


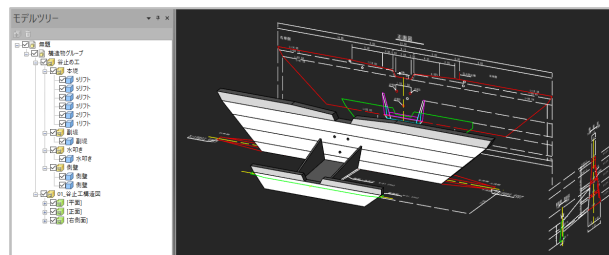
座標を計測したいポイントをクリックします。



X・Y・Zの座標値を確認します。

Esc キーを押してコマンドを終了します。





ご注意

- (1) 本書の内容およびプログラムの一部、または全部を当社に無断で転載、複製する事は禁止されております。
- (2) 本書およびプログラムに関して将来予告なしに変更する事があります。
- (3) プログラムの機能向上、または本書の作成環境によって、本書の内容と実際の画面・操作が異なってしまう可能性があります。この場合には、実際の画面・操作を優先させていただきます。
- (4) 本書の内容について万全を期して作成しましたが、万一ご不審な点・誤り・記載漏れなどお気づきの事がございましたら、当社までご連絡ください。
- (5) 本書の印刷例および画面上の会社名・数値などは、実在のものとは一切関係ございません。

正式名称・商標および著作権について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 Adobe、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標または登録商標です。 その他の社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

発行所 株式会社 建設システム

〒417-0862 静岡県富士市石坂 312-1

TEL 0570-200-787 FAX 0545-23-2601

令和 5 年 11 月 2 日